

住宅地盤に関わる業務について
アンケート結果

2019年2月

NPO 住宅地盤品質協会
研究情報収集委員会

当協会の活動にご賛同ご協力いただき厚く御礼を申し上げます。また、SWS 試験方法の JIS 改正に伴うアンケートにつきましてご協力いただきありがとうございます。

さて、社会環境が日々めまぐるしく変化する中、現在の業界状況や今後の業界動向を正確にかつ素早く掴む事は大変重要と考えております。今後益々、協会員の皆様においては、業界の動きを素早く客観的に捉え企業内に速やかに対応させ反映することが不可欠となるのではないのでしょうか。そこで、まずは業界の実態を把握したいと考え、全国約 500 社の協会員の皆様にアンケートを実施させていただきました。

<アンケート実施期間>

2018 年 11 月 16 日～2019 年 1 月 11 日

<有効回答数>

128 件

<アンケート内容>

Q1. 貴社の所在地や規模、地盤調査や地盤補強工事の件数などについてお伺いします。

Q1-1. 貴社の所在地（都道府県）をお答えください。
()

Q1-2. 貴社の組織についてお答えください。（択一式）

- (a) 株式会社
- (b) 有限会社
- (c) 個人
- (d) その他

Q1-3. 貴社の設立後経過年数をお答えください。（択一式）

- (a) 設立後 50 年以上
- (b) 設立後 30～50 年未満
- (c) 設立後 20～30 年未満
- (d) 設立後 10～20 年未満
- (e) 設立後 5～10 年未満
- (f) 設立後 1～5 年未満
- (g) 設立後 1 年未満

Q1-4. 貴社の社員数についてお答えください。（択一式）

- (a) 200 人以上
- (b) 100～200 人未満
- (c) 50～100 人未満
- (d) 20～50 人未満
- (e) 10～20 人未満
- (f) 5～10 人未満
- (g) 5 人未満

Q1-5. 貴社の事業全体規模についてお答えください。（択一式）

- (a) 年商 100 億円以上
- (b) 年商 50～100 億円程度
- (c) 年商 30～50 億円程度
- (d) 年商 10～30 億円程度
- (e) 年商 5～10 億円程度
- (f) 年商 1～5 億円程度
- (g) 年商 1 億円未満

Q1-6. 貴社の小規模建築物の年間、地盤調査件数及び地盤補強工事件数についてお答えください。件数をご記入ください（概算でも可）。

地盤調査件数 () 件
地盤補強工事件数 () 件

Q2-4-2. 上記 Q2-4 で「(a) 自社」とお答えになった方にお伺いします。地盤調査解析において、液状化判定は実施されていますか？（択一式）

- (a) 実施する
- (b) 実施しない
- (c) 要望がある場合に限り実施する

Q2-4-3. 上記 Q2-4-2 で「(a) 実施する」とお答えになった方にお伺いします。液状化判定をどのレベルまで行っていますか？（最も多いものに○をつけてください）

- (a) 資料調査（ハザードマップ、微地形区分、液状化履歴図など）で判定する
- (b) SWS 試験結果から、液状化による被害程度を求めて判定する
- (c) SWS 試験以外の調査を別途行って、液状化による被害程度を判定する
- (d) その他（)

Q2-4-4. 上記 Q2-4 で「(a) 自社」とお答えになった方にお伺いします。地盤調査解析において圧密沈下の検討は実施されていますか？（択一式）

- (a) 実施する
- (b) 実施しない
- (c) 要望がある場合に限り実施する

Q2-5. 貴社で最も多い地盤補強工法はどれですか？（択一式）

- (a) 表層改良
- (b) セメント系柱状改良
- (c) 小口径鋼管
- (d) 既成コンクリート杭
- (e) 木杭
- (f) 砕石
- (g) 複合地盤改良系
- (f) その他（)

Q2-6. 貴社の地盤補強工事では性能証明工法を採用していますか？（択一式）

- (a) はい
- (b) いいえ

Q2-6-1 上記 Q2-8 で「(a) はい」とお答えになった方にお伺いします。性能証明工法をどの程度採用していますか？（択一式）

- (a) 80～100%
- (b) 60～80%未満
- (c) 40～60%未満
- (d) 20～40%未満
- (e) 0～20%未満

Q2-6-2. 上記 Q2-6 で「(a)はい」とお答えになった方にお伺いします。次のうちどの工法を採用していますか？（該当するものすべてに○を付けてください。すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います。）

●表層系

- ・MS工法
- ・エスミックスラリー工法
- ・コロンブス工法
- ・その他（
- ・GRRシート工法

●乾式柱状系

- ・DSP工法
- ・その他（

●柱状改良系

- ・アイマーク工法
- ・ウルトラコラム工法
- ・アスコラム工法
- ・SSコラム
- ・その他（
- ・スリーエスG工法
- ・クロスウィングコラム工法
- ・STコラム
- ・ピュアパイル（PP）工法
- ・HITS工法
- ・くし兵衛工法

●RCパイル系

- ・H-AP工法
- ・オチロック工法
- ・その他（

●鋼管回転系

- ・SMD杭
- ・SEKOスクリューパイル工法
- ・DM（ダブルメタル）工法
- ・TG-m工法
- ・その他（
- ・ニューバースパイル（I・II・III・V）工法
- ・PPG工法
- ・ Σ -i工法
- ・アーステンダーパイル工法
- ・ETP-G工法
- ・Xpile（エックス）工法
- ・テコットパイルSR工法
- ・アルファフォースパイル工法

●木材圧入系

- ・環境パイル工法
- ・QPパイル
- ・その他（

●碎石締固め系

- ・アクパド工法
- ・その他（
- ・Hyspeed（ハイスピード）工法
- ・エコジオ工法

●合成コラム系

- ・タイガーパイル工法
- ・efコラム工法
- ・その他（
- ・しん兵衛工法
- ・ウルトラウッドコラム工法

●複合地盤改良系

- ・ピュアパイル（PP）工法
- ・その他（
- ・RES-P工法
- ・環境パイル（S）工法

Q3. 貴社の品質管理についてお伺いします。

Q3-1. 貴社は住品協基準書を業務で利用していますか？（択一式）

- (a) よく利用している
- (b) たまに利用している
- (c) 利用しない
- (d) ほとんど利用しない

Q3-1-1. 上記 Q3-1 で (a)、(b) とお答えになった方にお伺いします。基準書の主な利用目的についてお答えください。（択一式）

- (a) 業務において、調べものや問い合わせがあった際の参考書として利用している
- (b) 社内マニュアルとして利用している
- (c) 資格取得（住宅地盤技士・主任技士）時の参考書として利用している
- (d) その他（

Q3-1-2. 上記 Q3-1 で (c)、(d) とお答えになった方にお伺いします。基準書を利用しない理由についてお答えください。（択一式）

- (a) 調査や補強工事に関する内容が乏しく業務に役立たないから
- (b) 社内マニュアルなど、別の基準書を使用しているから
- (c) 性能証明工法を用いるため、その基準に準じているから
- (d) その他（

Q3-2. 住品協基準書で分かりにくい項目、理解を深めたい項目はありますか？

- (a) ある
- (b) ない

Q3-2-1. 上記 Q3-2 で「(a)はい」と回答した方のみお答えください。

- (a) わかりにくい項目
()
- (b) 理解を深めたい項目
()

Q3-3. 住品協基準書の内容で、実務上不具合をもたらす、あるいは納得できない内容がありますか？

- (a) はい
- (b) いいえ

Q3-3-1. 上記 Q3-3 で「(a)はい」と回答した方のみ、その内容をお答えください。

[]

Q4. 不同沈下についてお伺いします

Q4-1. 貴社で調査・判定または施工した案件で不同沈下が生じる件数/年間ほどの程度ありますか？（択一式）

- (a) 全体件数の 10%以上
- (b) 全体件数の 5～10%未満
- (c) 全体件数の 3～5%未満
- (d) 全体件数の 0～3%未満
- (e) 全体件数の 0%

Q4-2. 不同沈下が生じる場合は何年程度で発覚していますか？（択一式）

- (a) 10 年以上
- (b) 8～10 年未満
- (c) 5～8 年未満
- (d) 3～5 年未満
- (e) 0～3 年未満
- (f) 工事中

Q4-3. 不同沈下要因として最も多いと思われる項目はどれですか？（択一式）

- (a) 地盤調査不良
- (b) 判定不良
- (c) 設計不良
- (d) 施工不良
- (e) 近接工事による影響
- (f) その他（)

Q4-3-1. 上記 Q4-3. で「(a)地盤調査不良」とお答えになった方にお伺いします。最も多いと思われる項目はどれですか？（択一式）

- (a) 測点不足
- (b) 調査機の限界（支持層など）
- (c) 土質判定不良
- (d) その他（)

Q4-3-2. 上記 Q4-3. で「(b)判定不良」とお答えになった方にお伺いします。最も多いと思われる項目はどれですか？（択一式）

- (a) 判定者経験不足
- (b) 不確定な調査資料による判定
- (c) その他（)

Q4-3-3. 上記 Q4-3 で「(c)設計不良」とお答えになった方にお伺いします。最も多いと思われる項目はどれですか？（択一式）

- (a) 盛土に関する見誤り
- (b) 擁壁に関する見誤り
- (c) 土質に関する見誤り
- (d) その他（)

Q3-4. 住宅地盤技術者認定資格試験について貴社のお考えをお答えください。（択一式）

(a) 技術者教育に役立つ為、社員に受験を奨励している

(b) 資格者がいる事でお客様の信頼を得ているので、受験を奨励している

(c) 資格があっても特段のメリットがない為、受験を奨励していない

(d) その他（)

Q3-5. 住宅地盤技術者認定資格試験についてご意見や要望があればお聞かせください。

[]

<アンケート結果>



a001 フィールドの概要

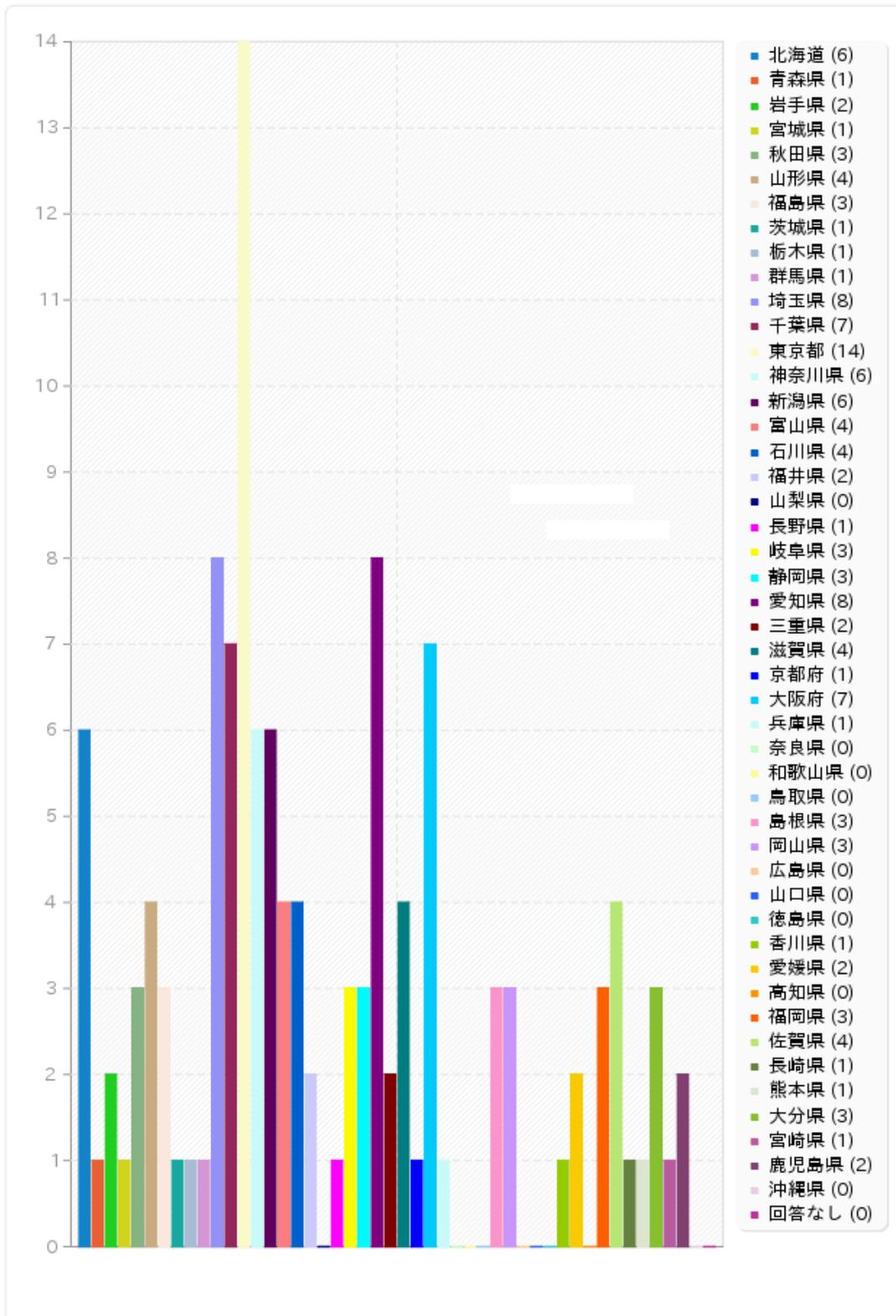
Q1-1.貴社の所在地をお答えください。(必須)

回答	カウント	百分率
北海道 (1)	6	4.69%
青森県 (2)	1	0.78%
岩手県 (3)	2	1.56%
宮城県 (4)	1	0.78%
秋田県 (5)	3	2.34%
山形県 (6)	4	3.12%
福島県 (7)	3	2.34%
茨城県 (8)	1	0.78%
栃木県 (9)	1	0.78%
群馬県 (10)	1	0.78%
埼玉県 (11)	8	6.25%
千葉県 (12)	7	5.47%
東京都 (13)	14	10.94%
神奈川県 (14)	6	4.69%
新潟県 (15)	6	4.69%
富山県 (16)	4	3.12%
石川県 (17)	4	3.12%
福井県 (18)	2	1.56%
山梨県 (19)	0	0.00%
長野県 (20)	1	0.78%
岐阜県 (21)	3	2.34%
静岡県 (22)	3	2.34%
愛知県 (23)	8	6.25%
三重県 (24)	2	1.56%
滋賀県 (25)	4	3.12%
京都府 (26)	1	0.78%
大阪府 (27)	7	5.47%
兵庫県 (28)	1	0.78%
奈良県 (29)	0	0.00%
和歌山県 (30)	0	0.00%
鳥取県 (31)	0	0.00%
島根県 (32)	3	2.34%
岡山県 (33)	3	2.34%
広島県 (34)	0	0.00%
山口県 (35)	0	0.00%
徳島県 (36)	0	0.00%
香川県 (37)	1	0.78%
愛媛県 (38)	2	1.56%
高知県 (39)	0	0.00%
福岡県 (40)	3	2.34%
佐賀県 (41)	4	3.12%
長崎県 (42)	1	0.78%
熊本県 (43)	1	0.78%
大分県 (44)	3	2.34%
宮崎県 (45)	1	0.78%
鹿児島県 (46)	2	1.56%
沖縄県 (47)	0	0.00%
回答なし	0	0.00%



a001 フィールドの概要

Q1-1.貴社の所在地をお答えください。(必須)





a002 フィールドの概要

Q1-2.貴社の組織についてお答えください。(必須、択一式)

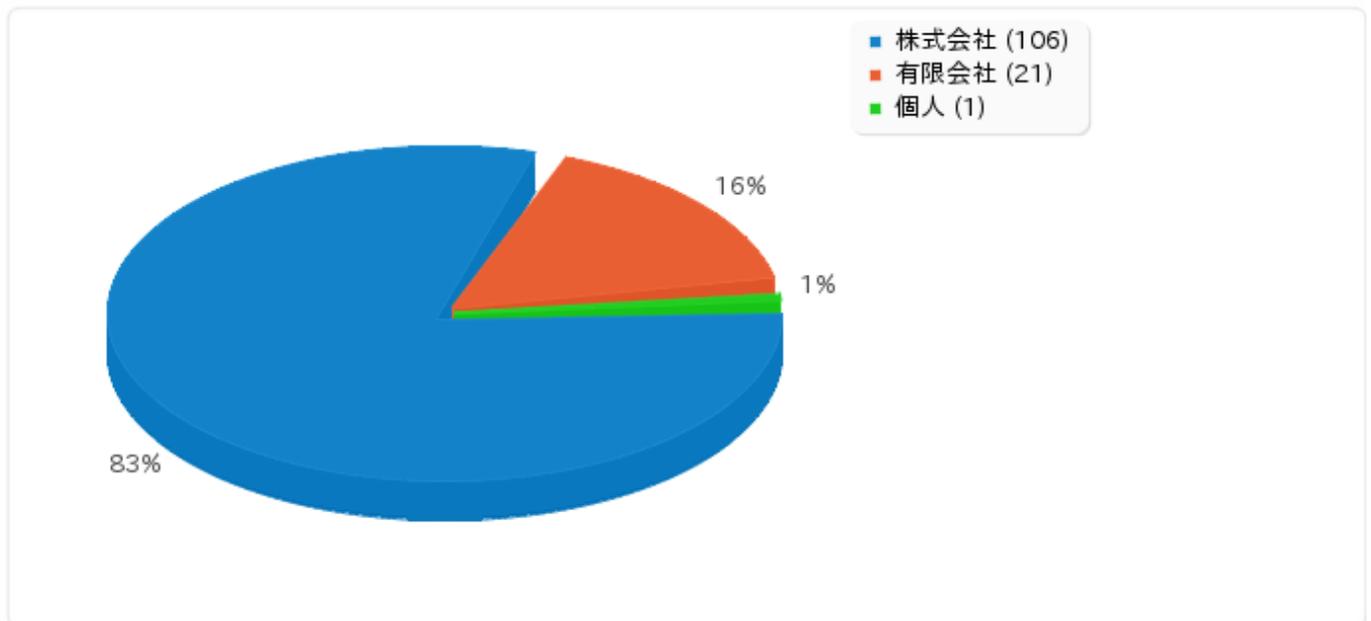
回答	カウント	百分率
株式会社 (1)	106	82.81%
有限会社 (2)	21	16.41%
個人 (3)	1	0.78%
その他	0	0.00%
回答なし	0	0.00%

ID	回答
----	----



a002 フィールドの概要

Q1-2.貴社の組織についてお答えください。(必須、択一式)





a003 フィールドの概要

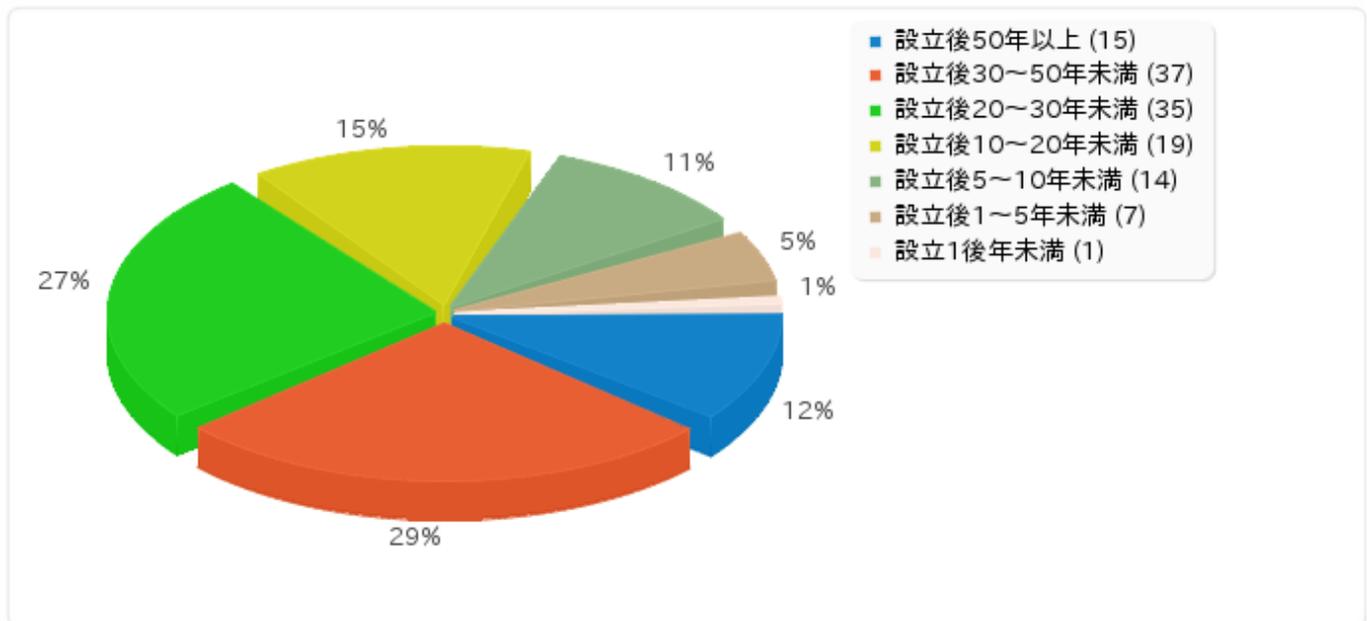
Q1-3.貴社の設立後経過年数をお答えください。(必須、択一式)

回答	カウント	百分率
設立後50年以上 (1)	15	11.72%
設立後30～50年未満 (2)	37	28.91%
設立後20～30年未満 (3)	35	27.34%
設立後10～20年未満 (4)	19	14.84%
設立後5～10年未満 (5)	14	10.94%
設立後1～5年未満 (6)	7	5.47%
設立1後年未満 (7)	1	0.78%
回答なし	0	0.00%



a003 フィールドの概要

Q1-3.貴社の設立後経過年数をお答えください。(必須、択一式)





a004 フィールドの概要

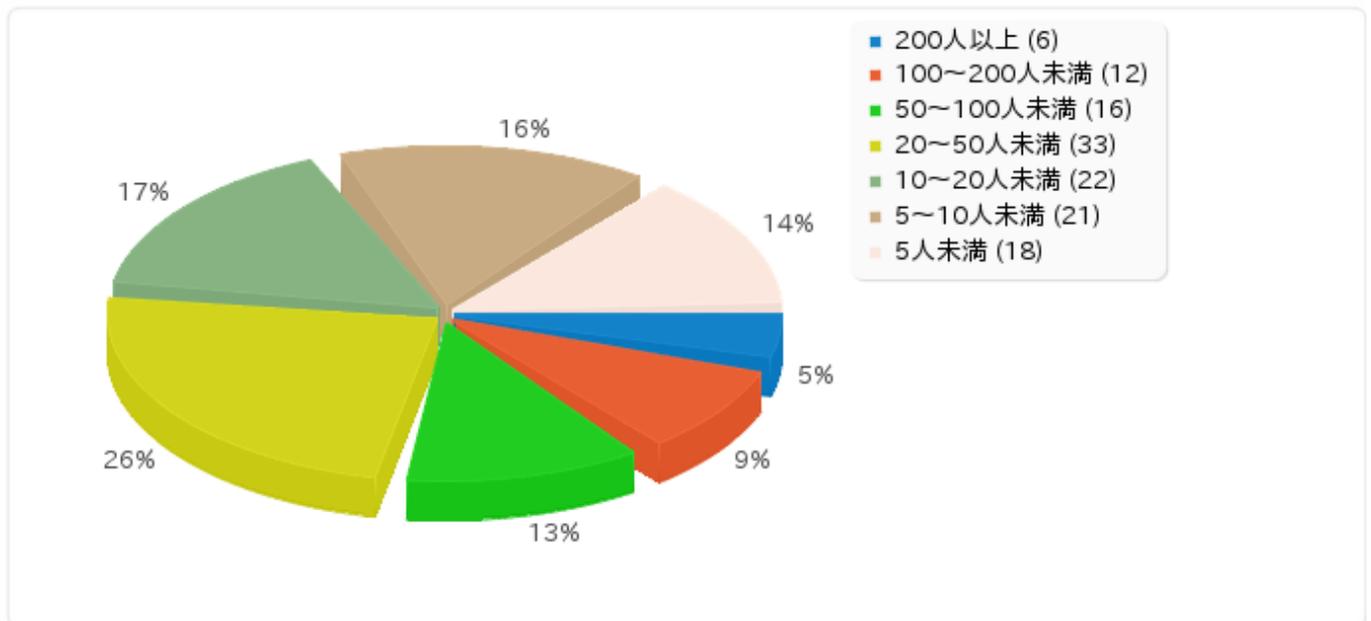
Q1-4.貴社の社員数についてお答えください。(必須、択一式)

回答	カウント	百分率
200人以上 (1)	6	4.69%
100～200人未満 (2)	12	9.38%
50～100人未満 (3)	16	12.50%
20～50人未満 (4)	33	25.78%
10～20人未満 (5)	22	17.19%
5～10人未満 (6)	21	16.41%
5人未満 (7)	18	14.06%
回答なし	0	0.00%



a004 フィールドの概要

Q1-4.貴社の社員数についてお答えください。(必須、択一式)





a005 フィールドの概要

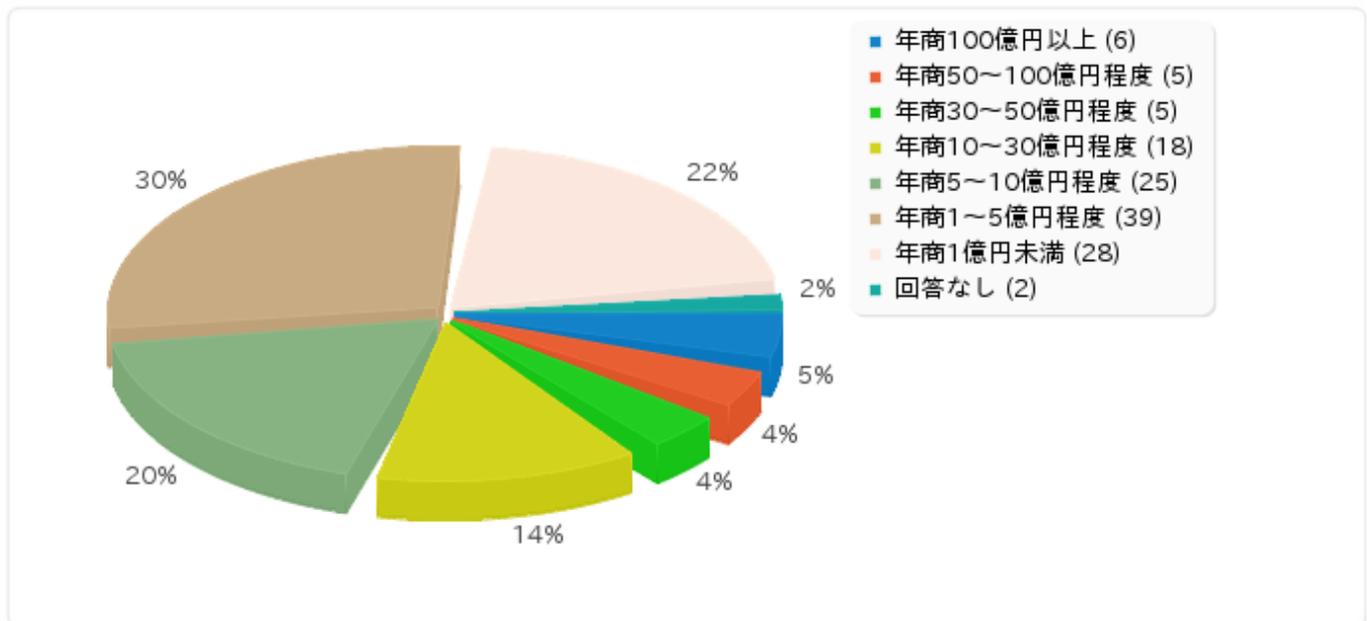
Q1-5.貴社の事業全体規模についてお答えください。(必須、択一式)

回答	カウント	百分率
年商100億円以上 (1)	6	4.69%
年商50～100億円程度 (2)	5	3.91%
年商30～50億円程度 (3)	5	3.91%
年商10～30億円程度 (4)	18	14.06%
年商5～10億円程度 (5)	25	19.53%
年商1～5億円程度 (6)	39	30.47%
年商1億円未満 (7)	28	21.88%
回答なし	2	1.56%



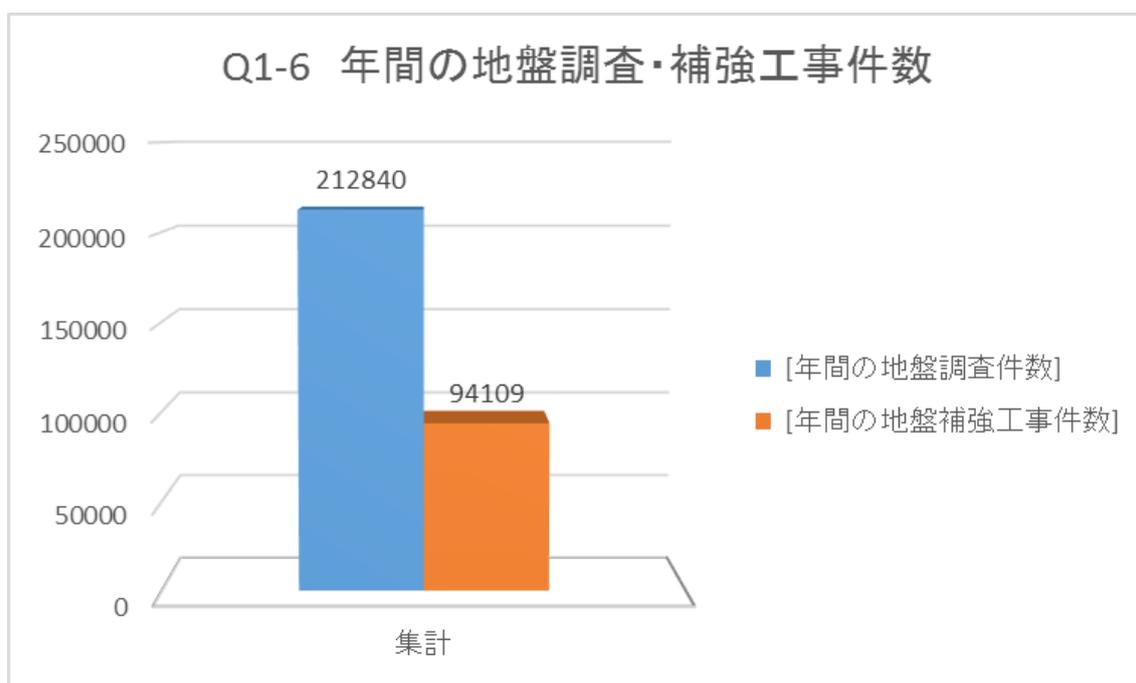
a005 フィールドの概要

Q1-5.貴社の事業全体規模についてお答えください。(必須、択一式)



Q1-6. 貴社の小規模建築物の年間の地盤調査件数及び地盤補強工事件数についてお答えください。(概算でも可)

※以下の件数は 128 回答の合計件数





b001 フィールドの概要

Q2-1.地盤調査はどんな方法で実施していますか？（複数回答式）

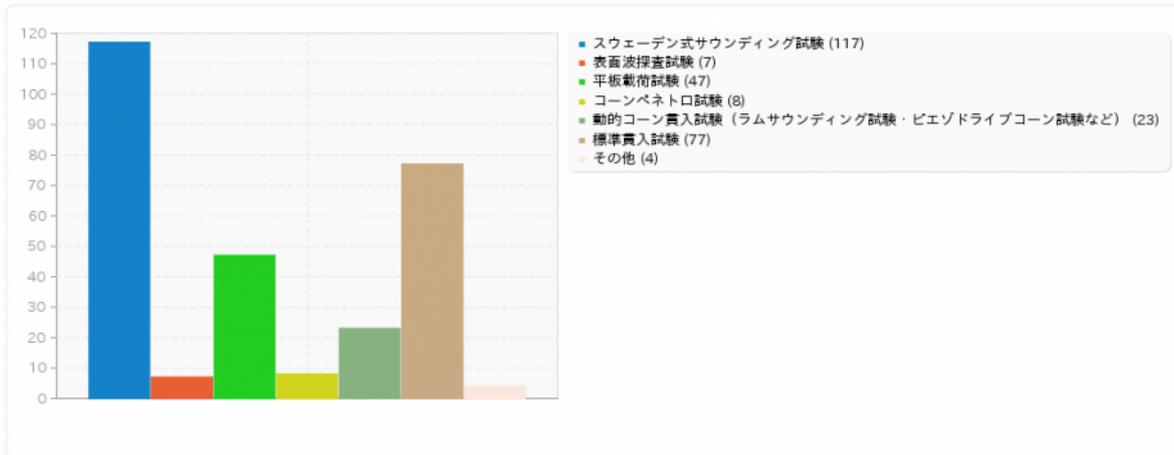
回答	カウント	百分率
スウェーデン式サウンディング試験 (1)	117	97.50%
表面波探査試験 (2)	7	5.83%
平板載荷試験 (3)	47	39.17%
コーンペネトロ試験 (4)	8	6.67%
動的コーン貫入試験（ラムサウンディング試験・ピエゾドライブコーン試験など） (5)	23	19.17%
標準貫入試験 (6)	77	64.17%
その他	4	3.33%

ID	回答
24	SDS
46	現場CBR試験
73	一軸圧縮
131	現場密度試験、キャスポル



b001 フィールドの概要

Q2-1.地盤調査はどんな方法で実施していますか？（複数回答式）





b002 フィールドの概要

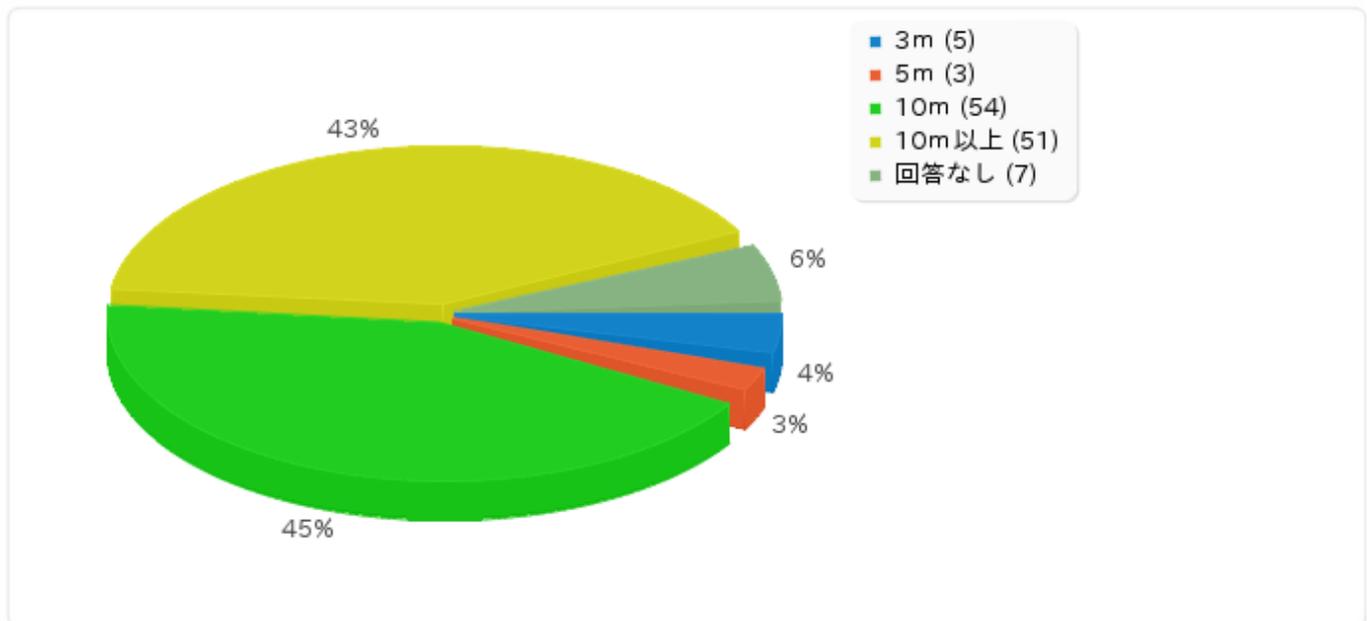
Q2-2.住宅における地盤調査は通常どの程度の深さまで実施していますか？

回答	カウント	百分率
3m (1)	5	4.17%
5m (2)	3	2.50%
10m (3)	54	45.00%
10m以上 (4)	51	42.50%
回答なし	7	5.83%



b002 フィールドの概要

Q2-2.住宅における地盤調査は通常どの程度の深さまで実施していますか？





b003 フィールドの概要

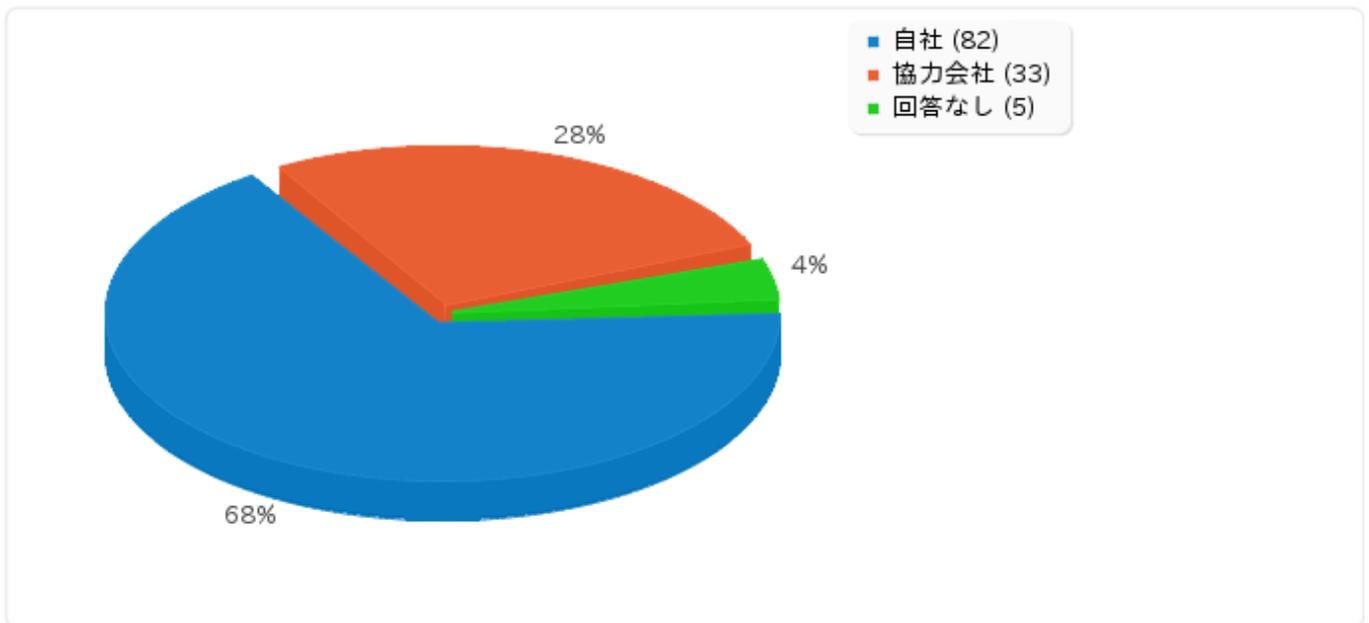
Q2-3.地盤調査は主に誰が行いますか？

回答	カウント	百分率
自社 (1)	82	68.33%
協力会社 (2)	33	27.50%
回答なし	5	4.17%



b003 フィールドの概要

Q2-3.地盤調査は主に誰が行いますか？





b004 フィールドの概要

Q2-3-1.地盤調査は主に「自社」でとお答えになった方でスウェーデン式サウンディング試験を行っている方にお伺いします。スクリーポイントの仕入れ先を教えてください。

回答	カウント	百分率
回答	67	81.71%
回答なし	15	18.29%

ID	回答
11	千代田製作所
17	日東精工株式会社
24	日東精工
27	みらい技術研究所
28	日東精工株式会社
30	長野の会社
33	長谷川精工(株)
37	サンワールド
39	日東精工
42	日東精工
46	(株)G.Eプランニング
47	株式会社 みらい技術研究所
49	ワイビーエム
50	未来技研
54	みらい
57	日東工具販売
60	(株)みらい技術研究所
61	日東精工、その他
62	日東精工(株)
68	得意先
70	日東精工
71	長谷川精工
72	その都度変わる
73	長谷川精工
78	日東精工
77	みらい技術
86	みらい技術研究所
88	(株)みらい技術研究所
89	(株)みらい技術研究所
94	日東精工
95	サンワールド
96	みらい技術研究所
100	株式会社 みらい技術研究所
108	日東精工株式会社
115	YBM
116	株式会社みらい技術研究所
117	日東精工(株)
119	日東精工
120	日東精工
123	(株)みらい技術研究所
126	日東精工(株)、(株)アクティブ
127	日東精工
128	システムプランニング
131	みらい技術研究所、日東精工
134	調査機メーカー
135	宇部建設資材販売
151	GEプランニング
153	取引先または日東精工
155	日東工具販売
156	ybm
160	(株)みらい技術研究所



159	調査部に確認しないと分かりません
163	日東精工
165	-
166	みらい技術
168	日東精工
172	(株)みらい技術研究所
179	日東精工
180	geプランニング
182	日東精工
183	株式会社フロンティア
186	みらい技術研究所
191	みらい技術 または前角製作所
192	数社あり
194	日東精工
195	YBM
200	株式会社みらい技術研究所



b0041 フィールドの概要

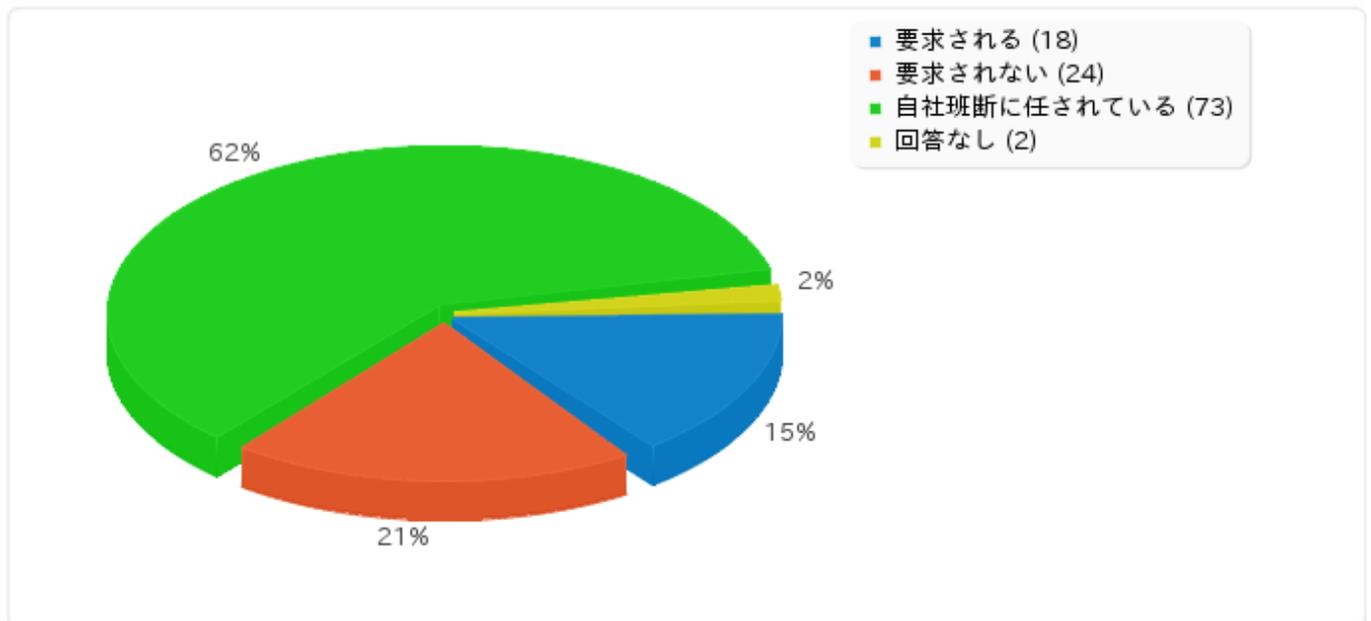
Q2-3-2.スウェーデン式サウンディング試験を行っている方にお伺いします。
貫入不能時の打撃について依頼先から要求はありますか？（必須、択一式）

回答	カウント	百分率
過度に要求される (1)	0	0.00%
要求される (2)	18	15.38%
要求されない (3)	24	20.51%
自社班断に任されている (4)	73	62.39%
回答なし	2	1.71%



b0041 フィールドの概要

Q2-3-2.スウェーデン式サウンディング試験を行っている方にお伺いします。
買入不能時の打撃について依頼先から要求はありますか？（必須、択一式）





b005 フィールドの概要

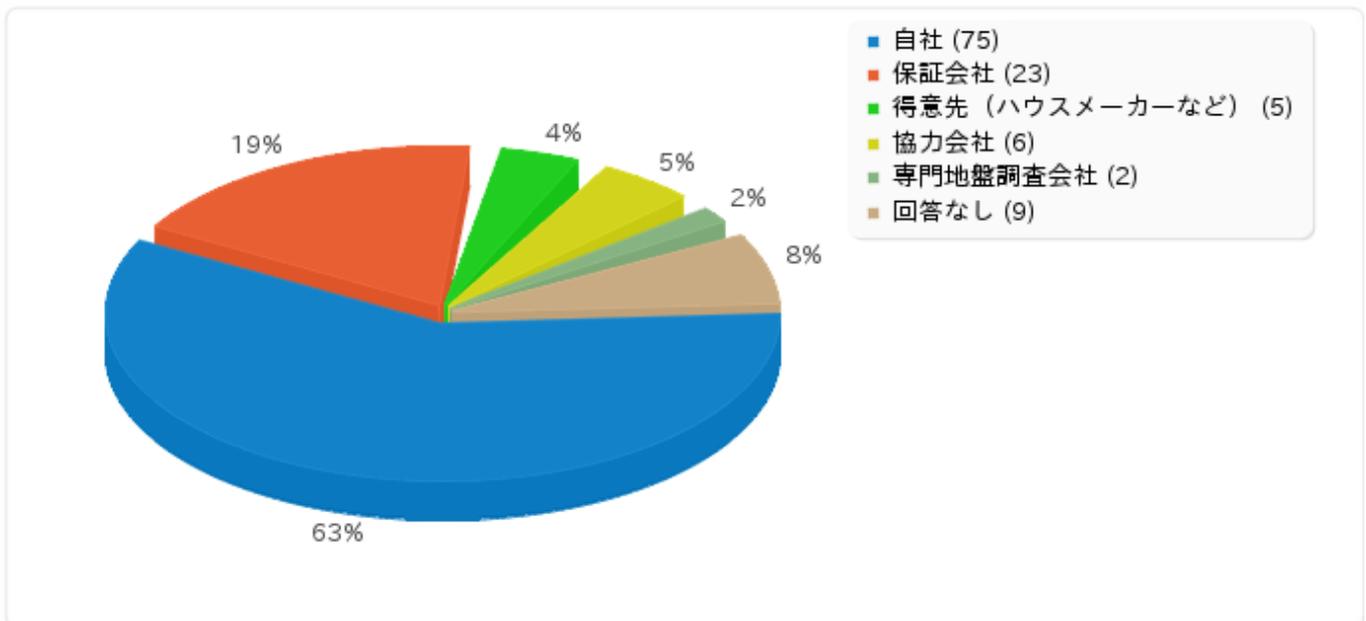
Q2-4.地盤調査による補強の有無や工法選定は主に誰が行いますか？

回答	カウント	百分率
自社 (1)	75	62.50%
保証会社 (2)	23	19.17%
得意先 (ハウスメーカーなど) (3)	5	4.17%
協力会社 (4)	6	5.00%
専門地盤調査会社 (5)	2	1.67%
回答なし	9	7.50%



b005 フィールドの概要

Q2-4.地盤調査による補強の有無や工法選定は主に誰が行いますか？





b006 フィールドの概要

Q2-4-1.補強の有無や工法選定は主に「自社」でとお答えになった方にお伺いします。
何を基準に補強の有無や工法選定を行っていますか？
最も多いものをお答えください。（必須、択一式）

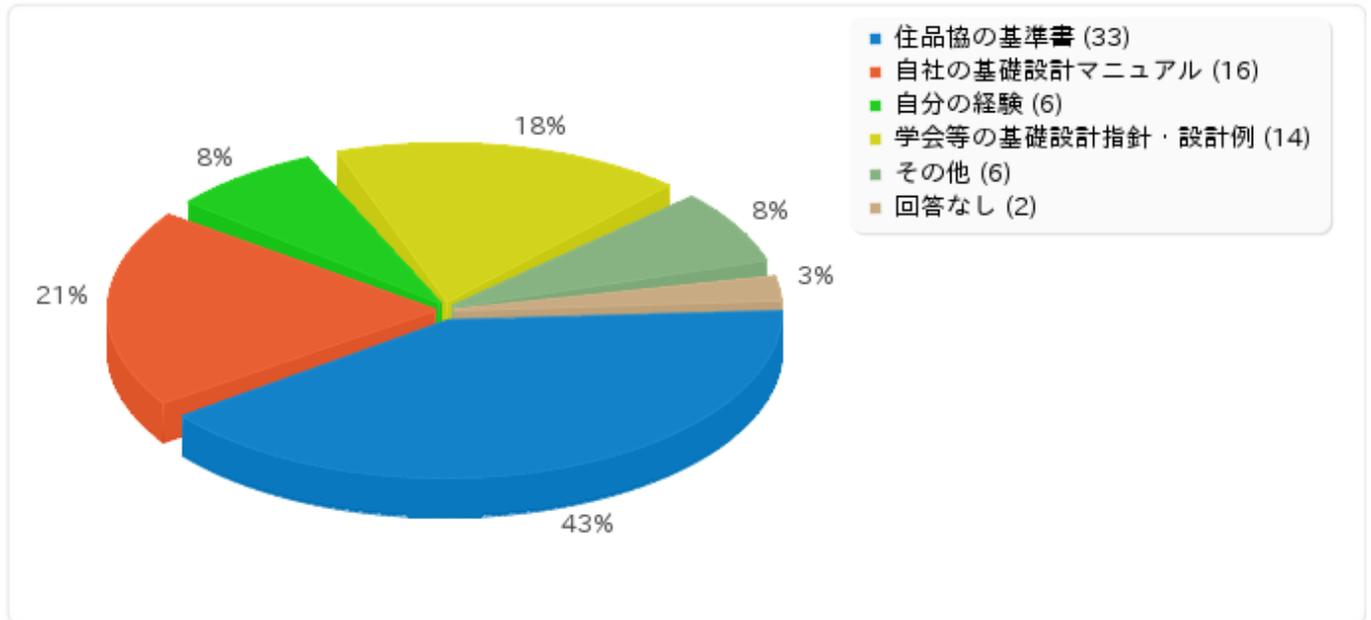
回答	カウント	百分率
住品協の基準書 (1)	33	42.86%
自社の基礎設計マニュアル (2)	16	20.78%
自分の経験 (3)	6	7.79%
学会等の基礎設計指針・設計例 (4)	14	18.18%
その他	6	7.79%
回答なし	2	2.60%

ID	回答
89	地優連判定基準
113	住品協の基準書等を参考に自社にて提案し得意先との打合せ
155	地盤保証会社との協議
191	国交省告示他を含め総合的判断



b006 フィールドの概要

Q2-4-1.補強の有無や工法選定は主に「自社」でとお答えになった方にお伺いします。
何を基準に補強の有無や工法選定を行っていますか？
最も多いものをお答えください。（必須、択一式）





b007 フィールドの概要

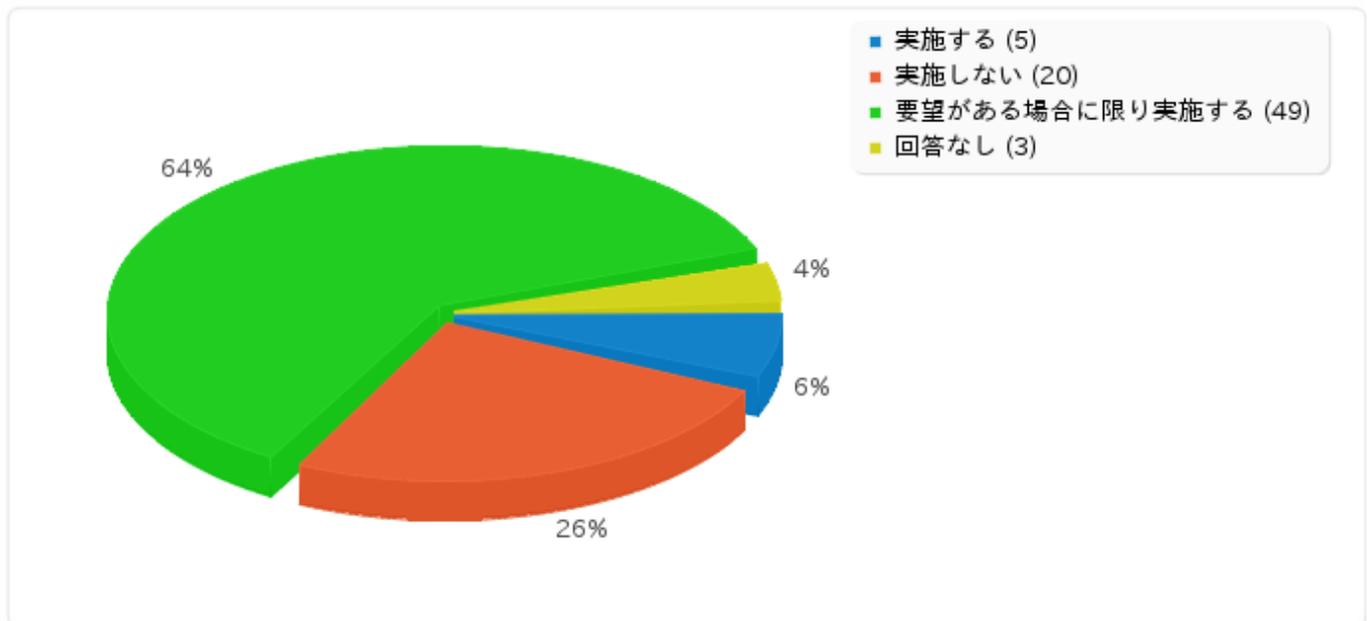
Q2-4-2.補強の有無や工法選定は主に「自社」でとお答えになった方にお伺いします。
地盤調査解析において、液状化判定は実施されていますか？（必須、択一式）

回答	カウント	百分率
実施する (1)	5	6.49%
実施しない (2)	20	25.97%
要望がある場合に限り実施する (3)	49	63.64%
回答なし	3	3.90%



b007 フィールドの概要

Q2-4-2.補強の有無や工法選定は主に「自社」でとお答えになった方にお伺いします。
地盤調査解析において、液状化判定は実施されていますか？（必須、択一式）





b0071 フィールドの概要

Q2-4-3.液状化判定を「実施する」とお答えになった方にお伺いします。
液状化判定をどのレベルまで行っていますか？最も多いもを選択してください。（必須、択一式）

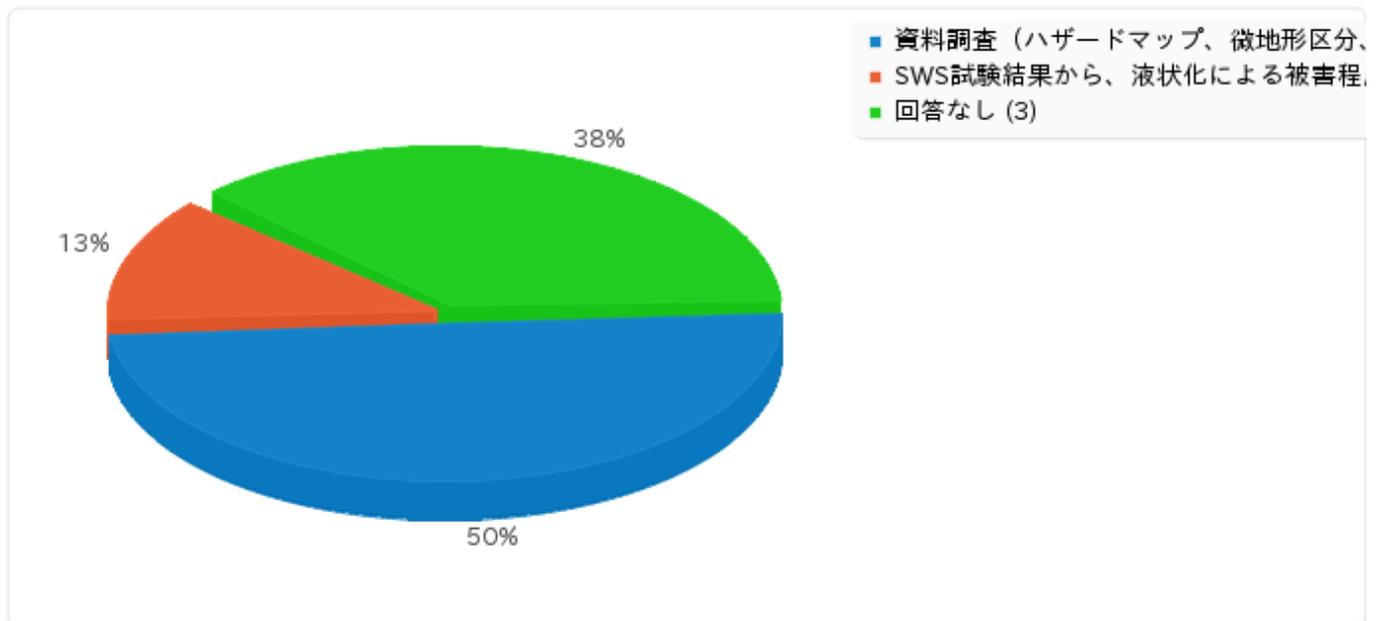
回答	カウント	百分率
資料調査（ハザードマップ、微地形区分、液状化履歴図など）で判定する (1)	4	50.00%
SWS試験結果から、液状化による被害程度を求めて判定する (2)	1	12.50%
SWS試験以外の調査を別途行って、液状化による被害程度を判定する (3)	0	0.00%
その他	0	0.00%
回答なし	3	37.50%

ID	回答
----	----



b0071 フィールドの概要

Q2-4-3.液状化判定を「実施する」とお答えになった方にお伺いします。
液状化判定をどのレベルまで行っていますか？最も多いものを選択してください。（必須、択一式）





b008 フィールドの概要

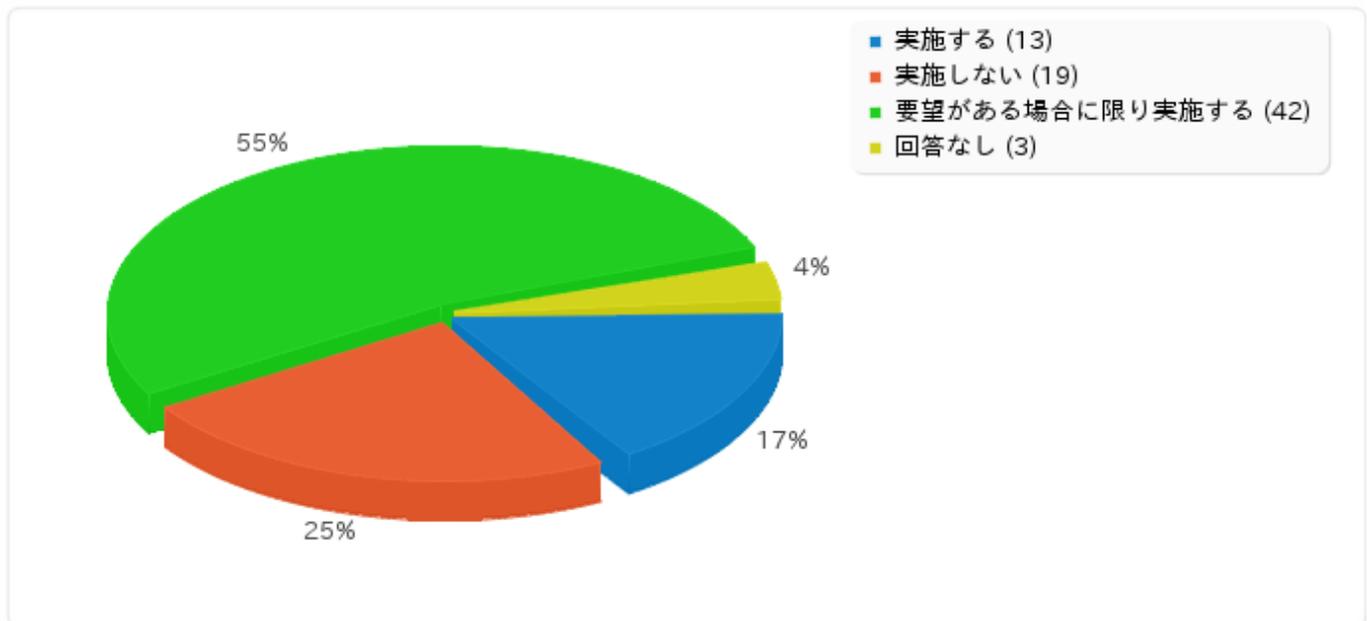
Q2-4-4.補強の有無や工法選定は主に「自社」でとお答えになった方にお伺いします。
地盤調査解析において圧密沈下の検討は実施されていますか？（必須、択一式）

回答	カウント	百分率
実施する (1)	13	16.88%
実施しない (2)	19	24.68%
要望がある場合に限り実施する (3)	42	54.55%
回答なし	3	3.90%



b008 フィールドの概要

Q2-4-4.補強の有無や工法選定は主に「自社」でとお答えになった方にお伺いします。
地盤調査解析において圧密沈下の検討は実施されていますか？（必須、択一式）





b009 フィールドの概要

Q2-5.貴社で最も多い地盤補強工法はどれですか？（必須、択一式）

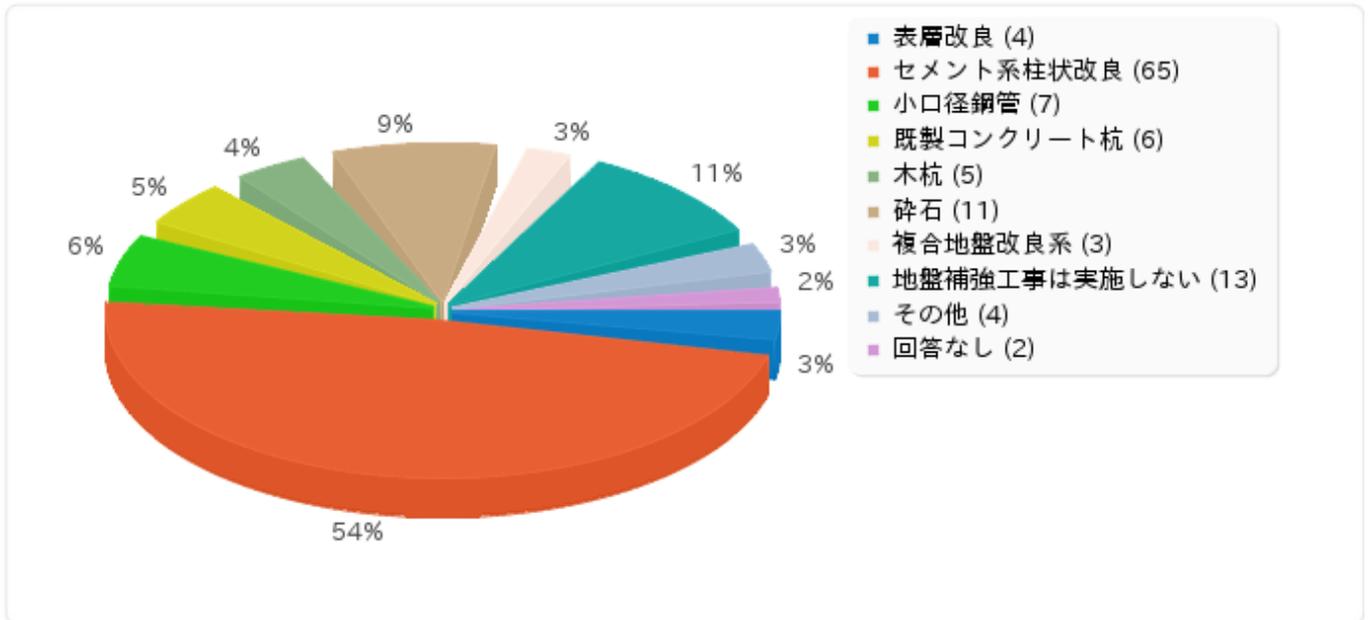
回答	カウント	百分率
表層改良 (1)	4	3.33%
セメント系柱状改良 (2)	65	54.17%
小口径鋼管 (3)	7	5.83%
既製コンクリート杭 (4)	6	5.00%
木杭 (5)	5	4.17%
砕石 (6)	11	9.17%
複合地盤改良系 (7)	3	2.50%
地盤補強工事は実施しない (8)	13	10.83%
その他	4	3.33%
回答なし	2	1.67%

ID	回答
38	GRRシート
72	ピュアパイル工法
78	コンクリート杭



b009 フィールドの概要

Q2-5.貴社で最も多い地盤補強工法はどれですか？（必須、択一式）





b010 フィールドの概要

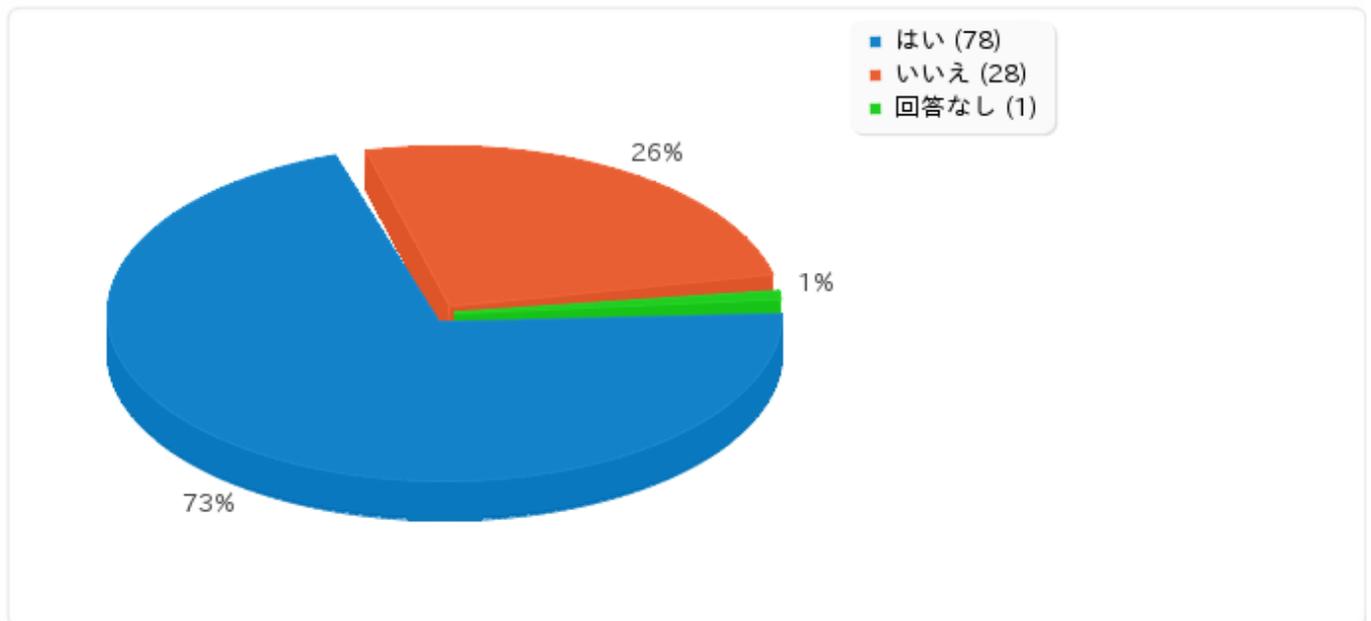
Q2-6.貴社の地盤補強工事では性能証明工法を採用していますか？（必須、択一式）

回答	カウント	百分率
はい(1)	78	72.90%
いいえ(2)	28	26.17%
回答なし	1	0.93%



b010 フィールドの概要

Q2-6. 貴社の地盤補強工事では性能証明工法を採用していますか？（必須、択一式）





b011 フィールドの概要

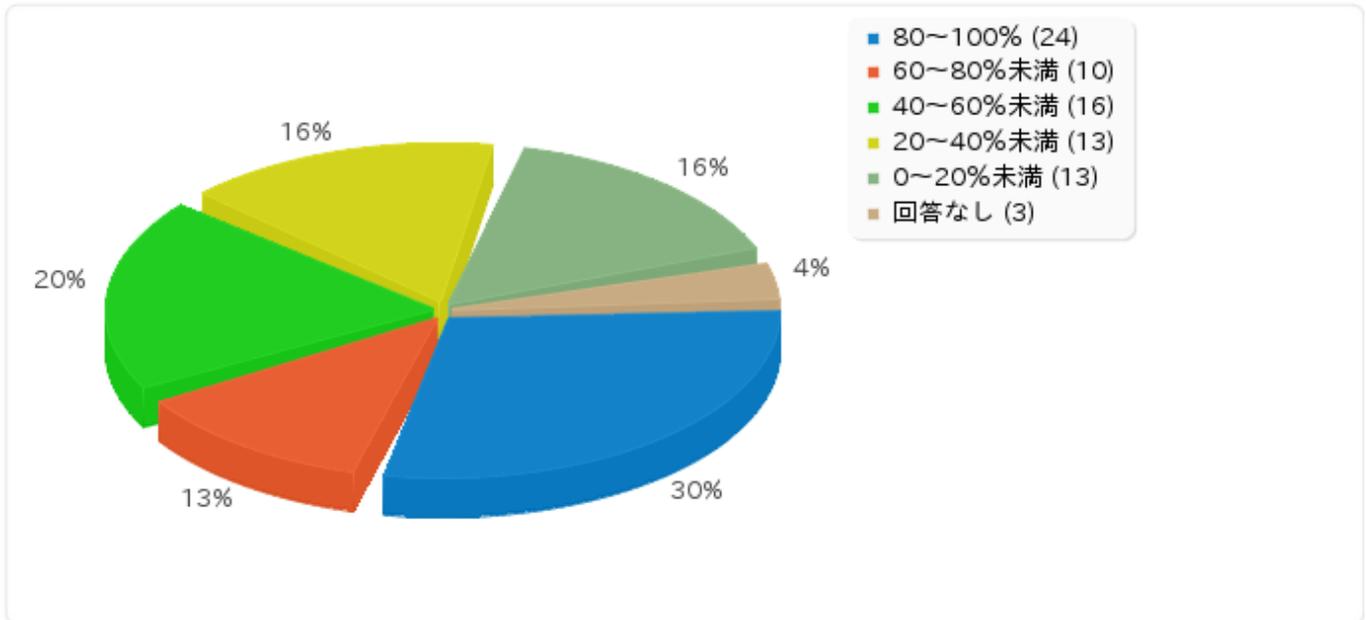
Q2-6-1.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。性能証明工法をどの程度採用していますか？（必須、択一式）

回答	カウント	百分率
80～100% (1)	24	30.38%
60～80%未満 (2)	10	12.66%
40～60%未満 (3)	16	20.25%
20～40%未満 (4)	13	16.46%
0～20%未満 (5)	13	16.46%
回答なし	3	3.80%



b011 フィールドの概要

Q2-6-1.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。性能証明工法をどの程度採用していますか？（必須、択一式）





b012 フィールドの概要

Q2-6-2-1.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。表層系では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）

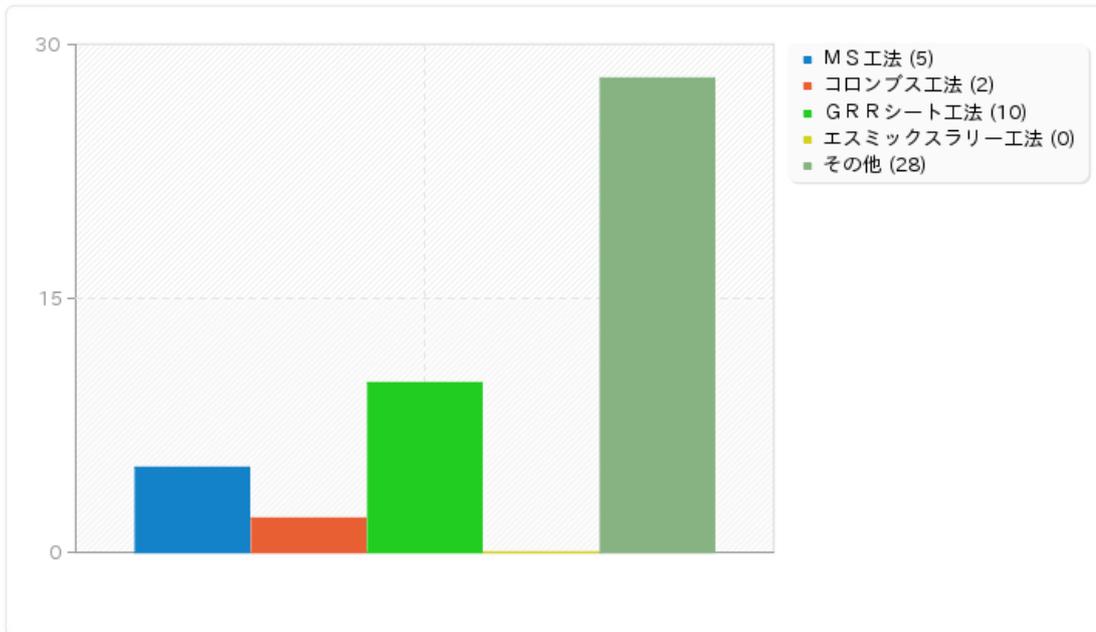
回答	カウント	百分率
M S 工法 (1)	5	6.33%
コロンプス工法 (2)	2	2.53%
G R R シート工法 (3)	10	12.66%
エスミックスラリー工法 (4)	0	0.00%
その他	28	35.44%

ID	回答
9	表層系は採用しません
15	なし
17	セメント改良は行わない
27	表層は非認定
29	サンライム工法
30	エルニード
33	エコジオ工法
39	L マッド S
52	SP工法
55	hyspeed工法
60	一般工法
62	ライジング工法
68	表層改良してない
86	採用なし
87	実施しない
89	なし
92	HySPEED工法
101	NSM工法
118	表層系は未採用
119	無し
120	なし
122	0
127	採用していない
131	テノコラム工法、エルマッド工法、DSP工法、EAZET
135	採用なし
143	ハイスピード工法
178	SP工法
179	外注：一般的な表層改良工事



b012 フィールドの概要

Q2-6-2-1.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。表層系では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）





b013 フィールドの概要

Q2-6-2-2.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「乾式柱状系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）

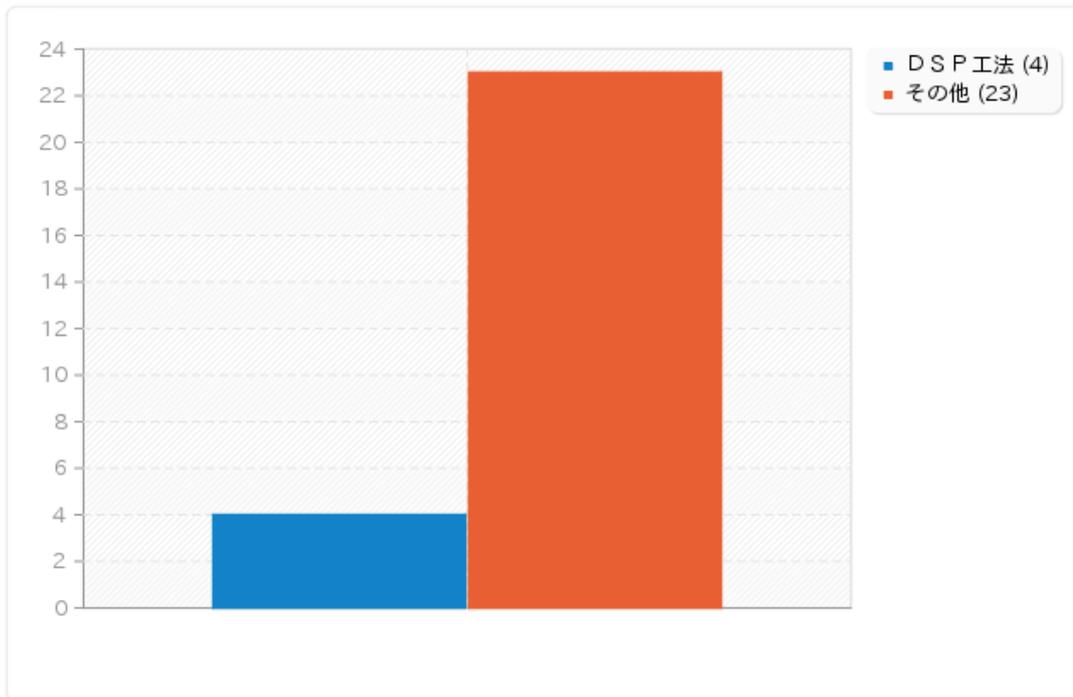
回答	カウント	百分率
D S P工法 (1)	4	5.06%
その他	23	29.11%

ID	回答
9	乾式柱状系は採用しません
15	なし
17	セメント改良は行わない
27	乾式は採用していない
30	ない
39	使用無し
55	hyspeed工法
60	乾式柱状はなし
62	無し
68	砕石
72	工法無し
86	採用なし
87	実施しない
89	なし
118	乾式柱状系は未採用
119	無し「
120	なし
122	0
127	採用していない
135	採用なし
159	やらない
179	乾式は採用なし
185	採用しない



b013 フィールドの概要

Q2-6-2-2.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「乾式柱状系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）





b014 フィールドの概要

Q2-6-2-3.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「湿式柱状系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）

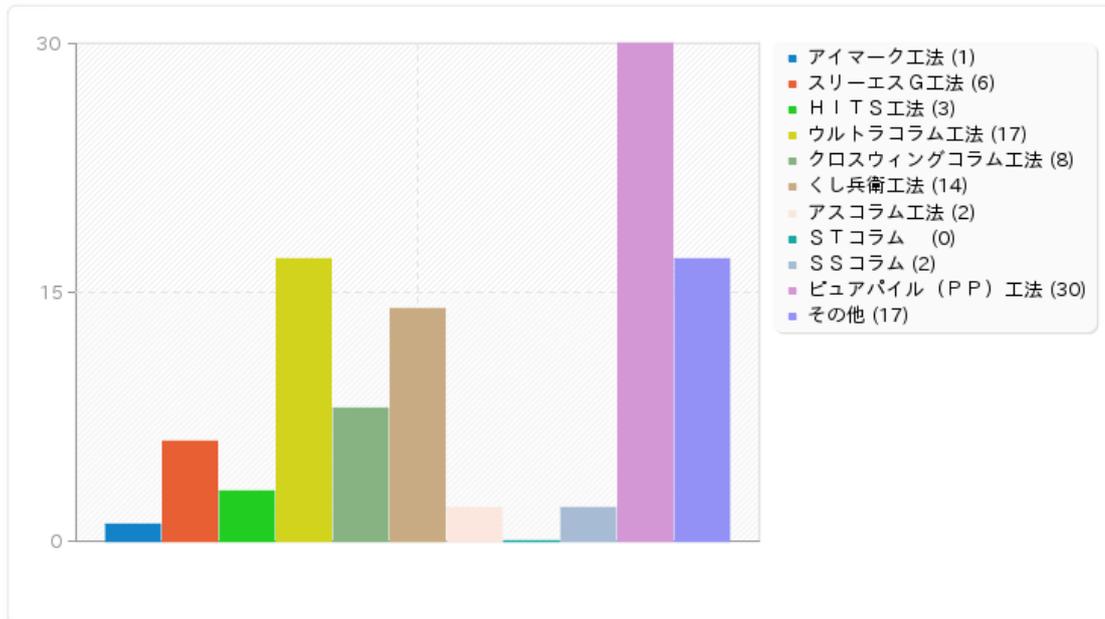
回答	カウント	百分率
アイマーク工法 (1)	1	1.27%
スリーエスG工法 (2)	6	7.59%
HITS工法 (3)	3	3.80%
ウルトラコラム工法 (4)	17	21.52%
クロスウィングコラム工法 (5)	8	10.13%
くし兵衛工法 (6)	14	17.72%
アスコラム工法 (8)	2	2.53%
STコラム (9)	0	0.00%
SSコラム (10)	2	2.53%
ピュアパイル (P P) 工法 (11)	30	37.97%
その他	17	21.52%

ID	回答
9	SF-Raft工法
15	エルコラム工法
17	セメント改良は行わない
28	ファインパイル工法
55	hyspeed工法
68	してない
101	ECM工法
110	GIコラム
113	ファインパイル工法eco
117	ウィンドミル工法
118	ファインパイル
120	なし
122	0
131	テノコラム工法
163	ファインパイル工法
179	GIコラム工法・ファインパイル工法
181	ファインパイル



b014 フィールドの概要

Q2-6-2-3.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「湿式柱状系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）





b015 フィールドの概要

Q2-6-2-4.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「RCパイル系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）

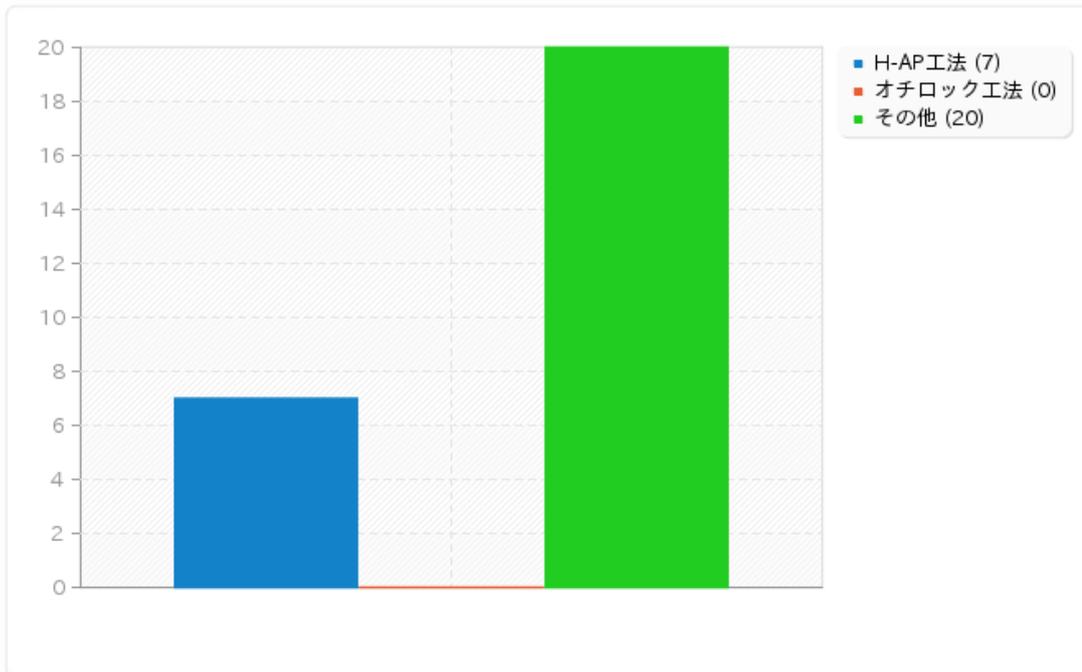
回答	カウント	百分率
H-AP工法 (1)	7	8.86%
オチロック工法 (2)	0	0.00%
その他	20	25.32%

ID	回答
9	採用していません
15	なし
17	セメント改良は行わない
27	RCパイルは施工しない
39	使用無し
60	特になし
62	無し
68	してない
72	工法無
86	採用なし
87	実施しない
89	なし
113	オチTS工法
118	RCパイル系は未使用
120	なし
122	0
127	採用していない
135	採用なし
179	採用なし
185	採用しない



b015 フィールドの概要

Q2-6-2-4.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「RCパイル系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）





b016 フィールドの概要

Q2-6-2-5.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「鋼管回転系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）

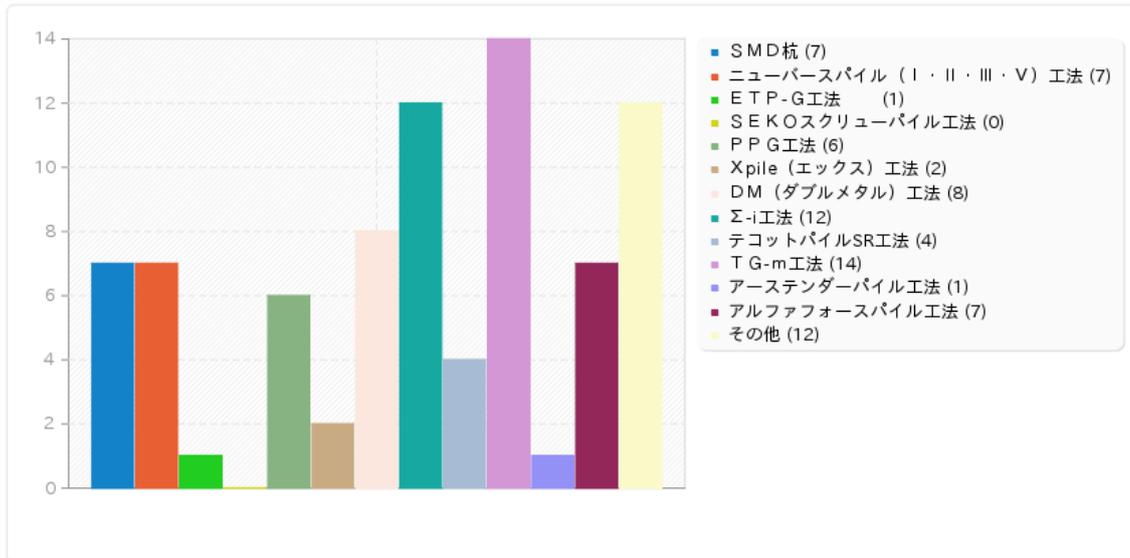
回答	カウント	百分率
SMD杭 (1)	7	8.86%
ニューバースパイル(. . .)工法 (2)	7	8.86%
ETP-G工法 (3)	1	1.27%
SEKOSクリューパイル工法 (4)	0	0.00%
PPG工法 (5)	6	7.59%
pile (エックス) 工法 (6)	2	2.53%
DM (ダブルメタル) 工法 (7)	8	10.13%
-i工法 (8)	12	15.19%
テコットパイルSR工法 (9)	4	5.06%
TG-m工法 (10)	14	17.72%
アーステンドーパイル工法 (11)	1	1.27%
アルファフォースパイル工法 (12)	7	8.86%
その他	12	15.19%

ID	回答
17	ハットウイング工法
23	ALKTOP工法
28	アルクトップ工法
55	ハットウイング工法
68	してない
83	ハットウイング
87	ハットウイング工法
101	NSエコパイル工法
131	旭化成建材EAZET
159	ジャスティス工法
179	採用なし
181	ALKTOP工法



b016 フィールドの概要

Q2-6-2-5.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「鋼管回転系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）





b017 フィールドの概要

Q2-6-2-6.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「木材圧入系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）

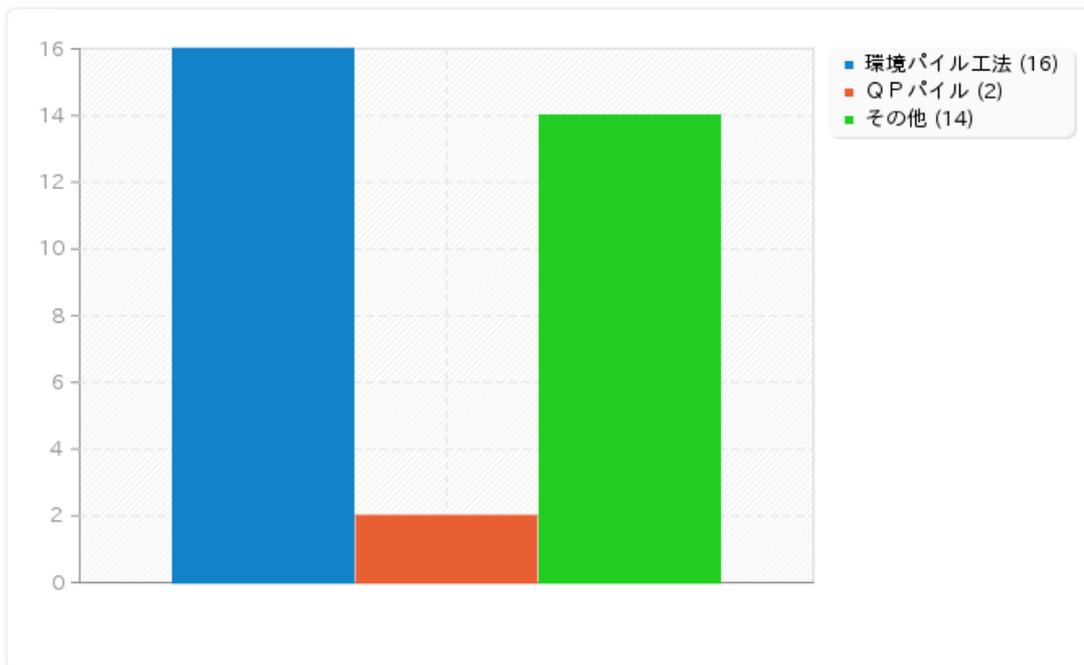
回答	カウント	百分率
環境パイル工法 (1)	16	20.25%
QPパイル (2)	2	2.53%
その他	14	17.72%

ID	回答
9	採用していません
15	なし
17	無し
27	施工していない
39	使用無し
60	工事なし
62	無し
68	してない
86	採用なし
87	実施しない
89	なし
119	無し
127	採用していない
185	採用しない



b017 フィールドの概要

Q2-6-2-6.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「木材圧入系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）





b018 フィールドの概要

Q2-6-2-7.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「碎石締固め系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）

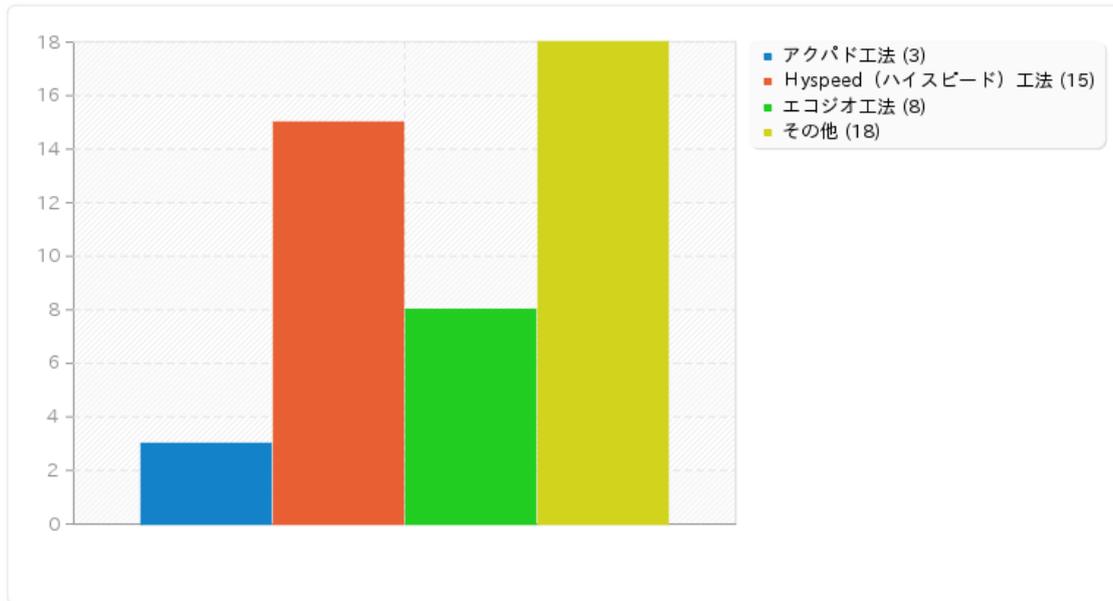
回答	カウント	百分率
アクパド工法 (1)	3	3.80%
Hyspeed (ハイスピード) 工法 (2)	15	18.99%
エコジオ工法 (3)	8	10.13%
その他	18	22.78%

ID	回答
9	採用していません
15	なし
27	施工していない
60	工事なし
62	無し
86	採用なし
87	実施しない
89	なし
96	スクリュー・プレス工法
118	碎石締固め系は未採用
119	無し
120	スクリュープレス工法
122	スクリュープレス工法
127	E c o メン工法
135	採用なし
177	スクリュープレス工法
179	採用なし
185	スクリュープレス



b018 フィールドの概要

Q2-6-2-7.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「碎石締固め系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）





b019 フィールドの概要

Q2-6-2-8.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「合成コラム系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）

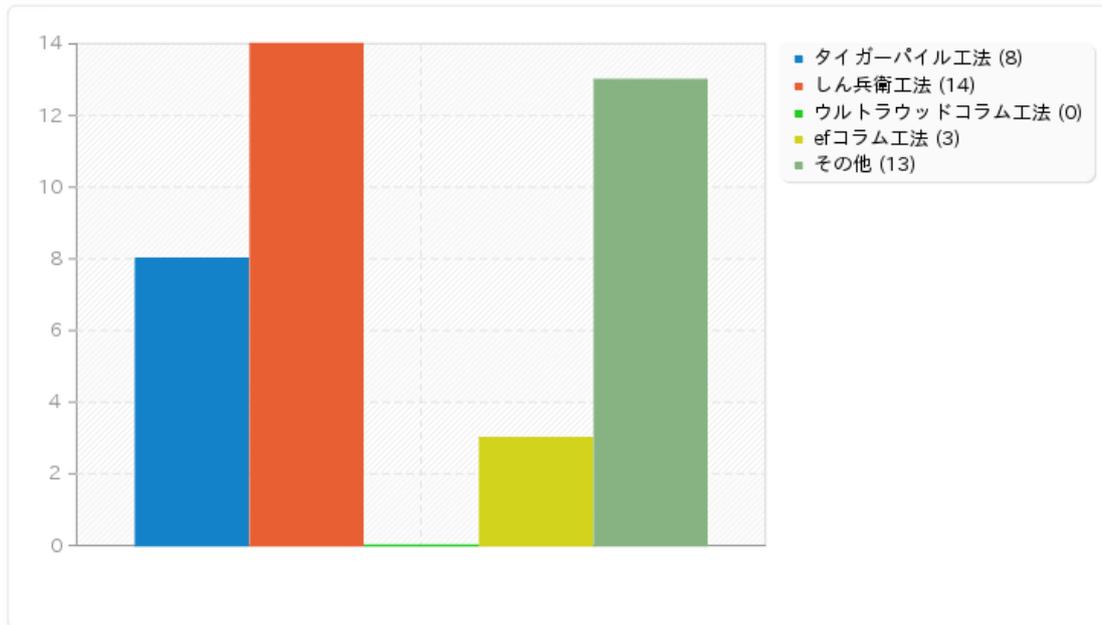
回答	カウント	百分率
タイガーパイル工法 (1)	8	10.13%
しん兵衛工法 (2)	14	17.72%
ウルトラウッドコラム工法 (3)	0	0.00%
efコラム工法 (4)	3	3.80%
その他	13	16.46%

ID	回答
17	無し
27	施工していない
39	使用無し
60	工事なし
68	してない
87	実施しない
89	なし
118	合成コラム系は未採用
120	なし
122	0
127	一鉄パイル工法
135	採用なし
179	採用なし



b019 フィールドの概要

Q2-6-2-8.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「合成コラム系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）





b020 フィールドの概要

Q2-6-2-9.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「複合地盤改良系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）

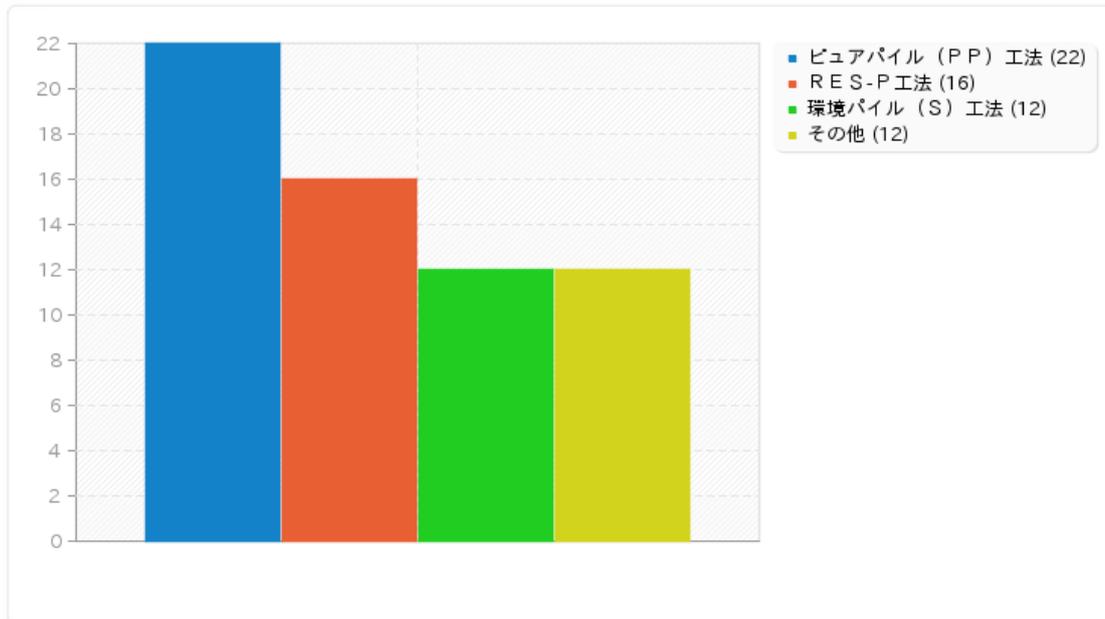
回答	カウント	百分率
ピュアパイル（P P）工法 (1)	22	27.85%
R E S - P工法 (2)	16	20.25%
環境パイル（S）工法 (3)	12	15.19%
その他	12	15.19%

ID	回答
9	SF-Raft工法
17	無し
27	施工していない
39	C P P
60	特になし
68	してない
72	MS基礎
92	HySPEED工法
120	スクリュープレス工法
122	スクリュープレス工法
128	CPP工法
179	G I コラム工法・ファインパイル工法



b020 フィールドの概要

Q2-6-2-9.性能証明工法を採用しているとお答えになった方にお伺いします。「複合地盤改良系」では、どの工法を採用していますか？（複数回答式、すべての認定工法は列記せず、ある程度の工法を抽出して順不同としております。工法の記載がない場合はその他にて回答願います）





c001 フィールドの概要

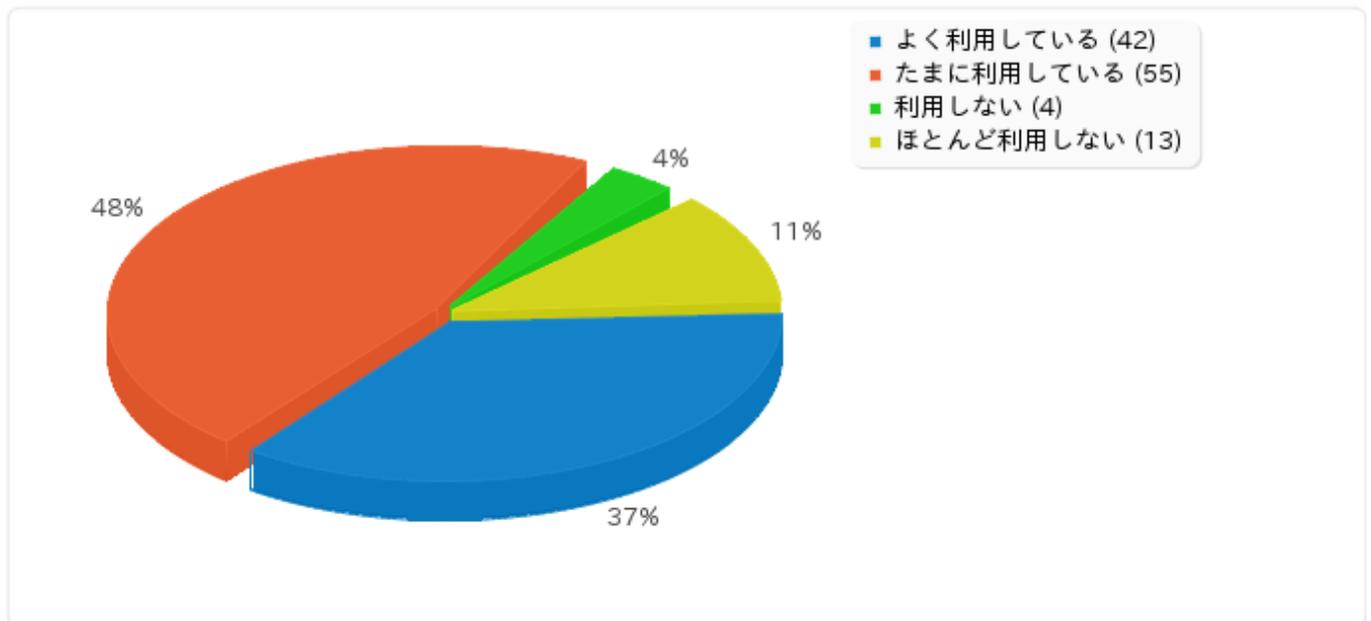
Q3-1.貴社は住品協基準書を業務で利用していますか？（必須、択一式）

回答	カウント	百分率
よく利用している (1)	42	36.84%
たまに利用している (2)	55	48.25%
利用しない (3)	4	3.51%
ほとんど利用しない (4)	13	11.40%
回答なし	0	0.00%



c001 フィールドの概要

Q3-1.貴社は住品協基準書を業務で利用していますか？（必須、択一式）





c002 フィールドの概要

Q3-1-1.住品協基準書を利用しているとお答えになった方にお伺いします。基準書の利用目的を教えてください。（必須、択一式）

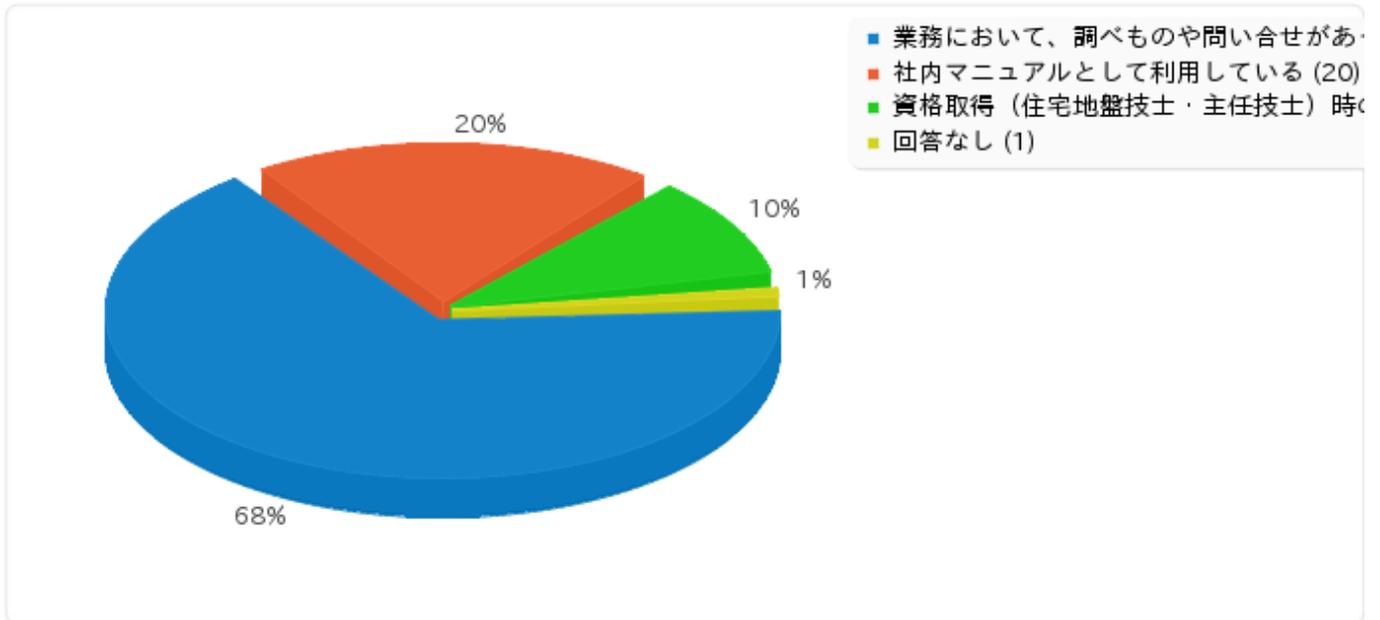
回答	カウント	百分率
業務において、調べものや問い合わせがあった際の参考書として利用している (1)	67	68.37%
社内マニュアルとして利用している (2)	20	20.41%
資格取得（住宅地盤技士・主任技士）時の参考書として利用している (3)	10	10.20%
その他	0	0.00%
回答なし	1	1.02%

ID	回答
----	----



c002 フィールドの概要

Q3-1-1.住品協基準書を利用しているとお答えになった方にお伺いします。基準書の利用目的を教えてください。（必須、択一式）





c003 フィールドの概要

Q3-1-2.住品協基準書を利用していないとお答えになった方にお伺いします。基準書を利用しない理由を教えてください。(必須、択一式)

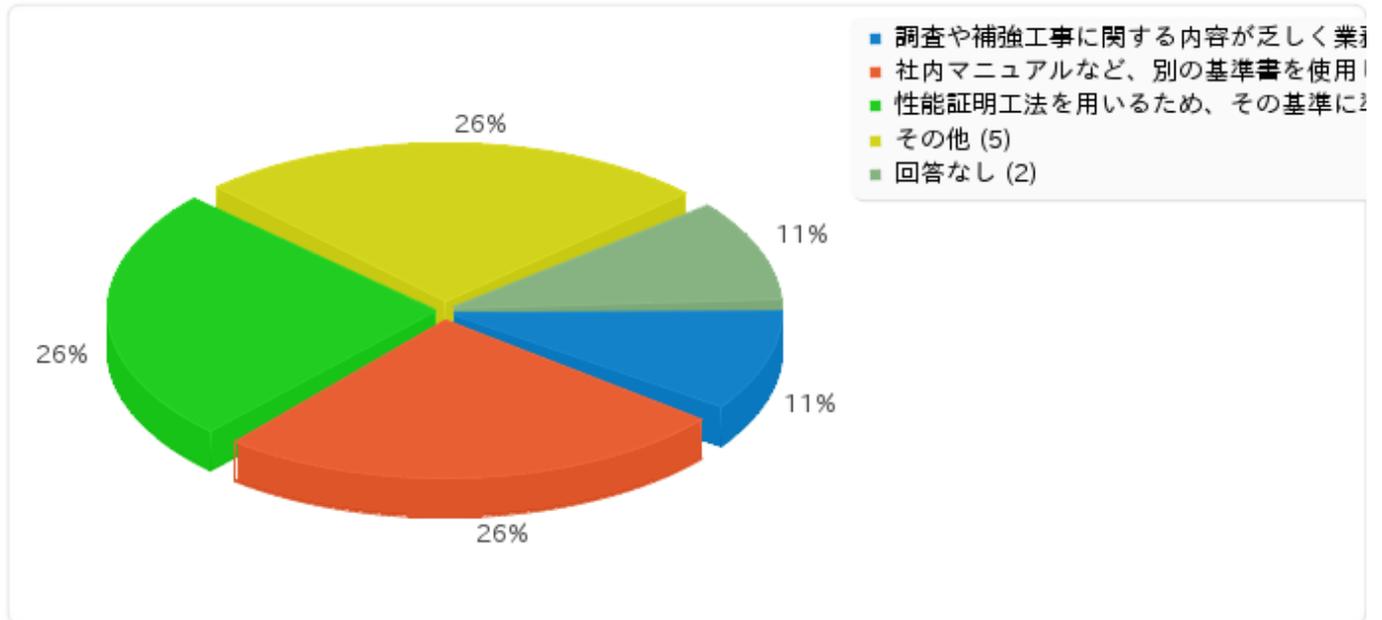
回答	カウント	百分率
調査や補強工事に関する内容が乏しく業務に役立たないから (1)	2	10.53%
社内マニュアルなど、別の基準書を使用しているから (2)	5	26.32%
性能証明工法を用いるため、その基準に準じているから (3)	5	26.32%
その他	5	26.32%
回答なし	2	10.53%

ID	回答
27	ハウスメーカー側に基準がある
54	J I S 規定に準ずる
68	得に理由なし
146	工事を行わないため



c003 フィールドの概要

Q3-1-2.住品協基準書を利用していないとお答えになった方にお伺いします。基準書を利用しない理由を教えてください。（必須、択一式）





c004 フィールドの概要

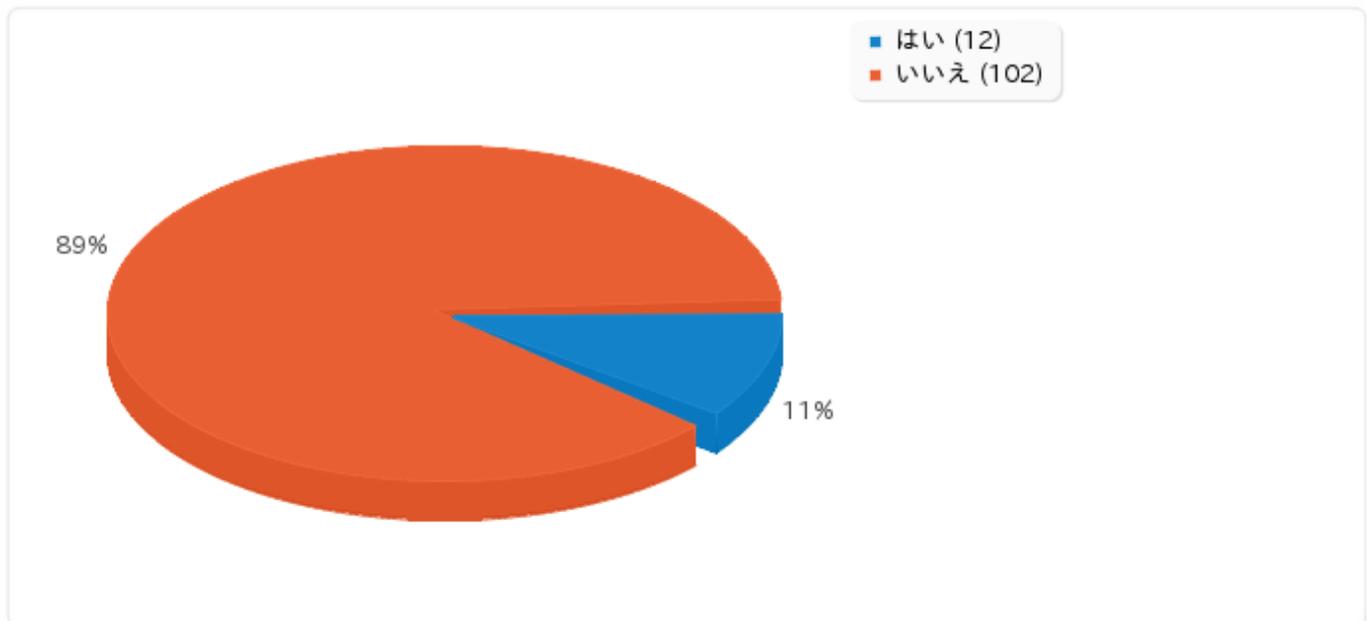
Q3-2.住品協基準書で分かりにくい項目、理解を深めたい項目はありますか？（必須、択一式）

回答	カウント	百分率
はい(1)	12	10.53%
いいえ(2)	102	89.47%
回答なし	0	0.00%



c004 フィールドの概要

Q3-2.住品協基準書で分かりにくい項目、理解を深めたい項目はありますか？（必須、択一式）





c005 フィールドの概要

Q3-2-1.住品協基準書で分かりにくい項目があると回答した方のみお答え下さい。分かりにくい項目は
なんですか？

回答	カウント	百分率
回答	10	71.43%
回答なし	4	28.57%

ID	回答
24	P65に記載されている羽根切り回数で有効なのは攪拌翼のみであり、掘削ビットと共回り防止板は除くとの記述がありますが、ダブル攪拌（4工程）の場合には全て（注入時も）みてもよろしいのでしょうか？（4枚翼×4回） また、注入時のみ掘削ビットを入れずに攪拌の場合には入れてもよろしいのでしょうか？（4枚翼×1+6枚翼×3回）
37	土の性質など
40	液状化の判定について
56	例示が少なく、実例に当てはめるとき、判断に苦しむことがある
78	フローチャートでの補強が必要か必要ではないかの判断
94	柱状改良の構造計算書
128	なぜ、建物の角に杭を入れなくてはいけないのか
131	微地形の詳細（「住宅地盤調査の基礎と実務」の方を参照としています。） SWSの結果より、基礎工法、地盤改良の選定
179	まだ見たことがないので何とも言えない
195	スウェーデン式サウンディングの調査深度 地域によっては 5か所 25m前後貫入している



c006 フィールドの概要

Q3-2-2.住品協基準書で理解を深めたい項目があると回答した方のみお答え下さい。理解を深めたい項目がはなんですか？

回答	カウント	百分率
回答	11	78.57%
回答なし	3	21.43%

ID	回答
24	柱状改良の設計施工基準
37	土の性質における工法の選択への影響
40	補強工事の選定や要不要について
49	スウェーデン式サウンディング試験の最長深度。 現在最大28m貫入していて単価が合わない
56	木杭の理解を深めたい
78	新しい見地を教えて欲しい
78	地盤改良や補強が必要かをフローチャートにて判断する際に、他社の地盤ネットでは構造計算をして合否を出しているらしいので、そういう判断方法もあれば掲載してほしい。
94	地形による判断基準をもっと詳しく解説願いたい
128	基礎構造
131	基礎工法について 液状化の判定について、SWS結果よりの簡易判定方法 圧密検討について、SWS結果よりの簡易判定方法
179	まだ見たことがないので何とも言えない
195	木杭の設計施工マニュアル



c007 フィールドの概要

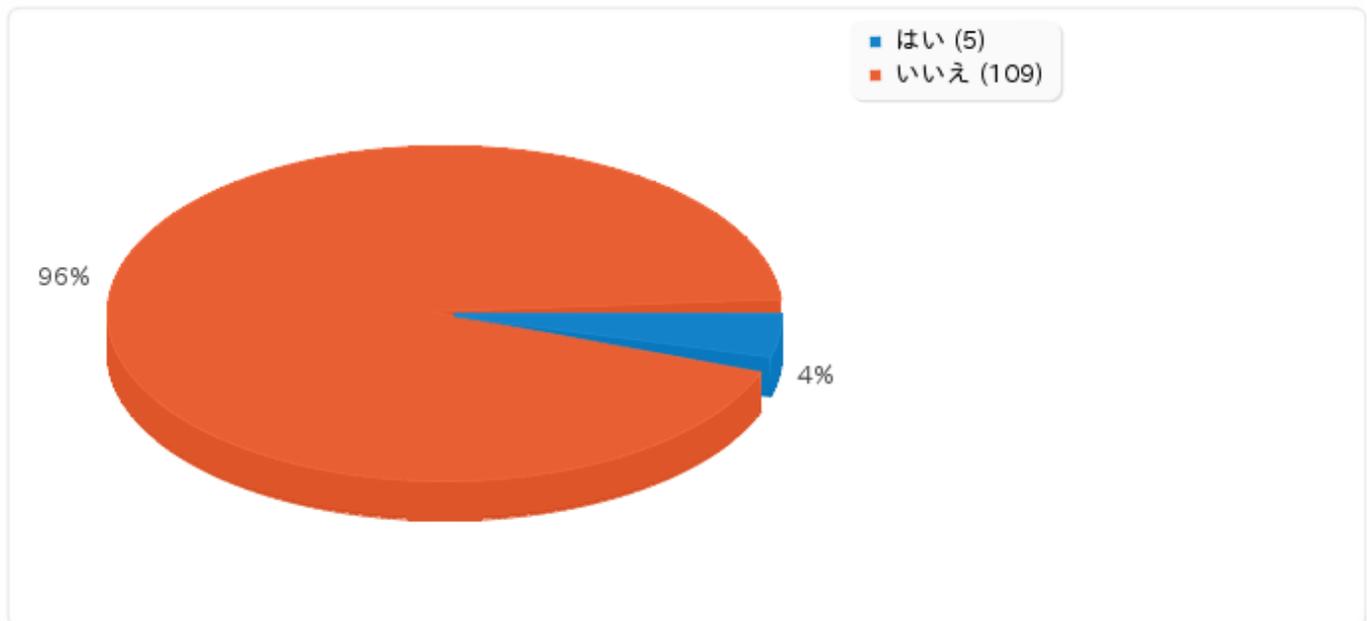
Q3-3.住品協基準書の内容で、実務上不具合をもたらす、あるいは納得できない内容がありますか？（
必須、択一式）

回答	カウント	百分率
はい(1)	5	4.39%
いいえ(2)	109	95.61%
回答なし	0	0.00%



c007 フィールドの概要

Q3-3.住品協基準書の内容で、実務上不具合をもたらす、あるいは納得できない内容がありますか？（必須、択一式）





c008 フィールドの概要

Q3-3-1.住品協基準書の内容で、実務上不具合をもたらす、あるいは納得できない内容があると答えられた方、内容について教えてください。

回答	カウント	百分率
回答	5	71.43%
回答なし	2	28.57%

ID	回答
24	柱状改良体の改良長の最低基準値（2.00m）
78	洪積層の場合に2mまでに0.75kN以下の自沈層なしの場合に補強なしとなっているところ。 新規盛り土や切り盛り地、埋め土地ならばしょうがないが、元々昔からある地盤で、測点ごとにバラツキがなければ、沖積層でも良いんじゃないでしょうか。
128	上記でも記入しましたが、軸力の小さな所に杭を設置することを推奨している意味は。また、現在、危険な設計をする業者が多数見受けられます。業界の進歩のため、適切な設計を指導して欲しい。
181	表層改良工事での1日の施工量の目安は記載されているが、混合・攪拌の状態が目視できない柱状改良についての施工量の明記が無いのはなぜでしょうか？ 施工品質を向上させる意味でも重要だと考えますが？
187	<p>・小規模建築基礎設計指針をベースに考えられた基準書だと思いますが、全国を一律同じ条件で基準されていますが、適用範囲内の建物であっても4号建築物と3号建築物も同じ基準は、当てはまらないと思います。4号建築物では構造計算もされないケースが主であり、地盤改良の検討書も必要ない事が多い。多雪地域の耐雪建物（3.8m耐雪建物もある）なども存在する。これらも全て雪の降らない地域と同じ考えや、木造2階建ての住宅と同じ考えは、如何と思います。</p> <p>・柱状地盤改良において、最大改良長は8mとあるが、施工機械の性能において問題なければ、8m以上も可能であると考えます。但し細長比は考慮する必要があると考えます。</p>



c009 フィールドの概要

Q3-4.住宅地盤技術者認定資格試験（主任技士・技士）についての貴社のお考えを教えてください。（必須、択一式）

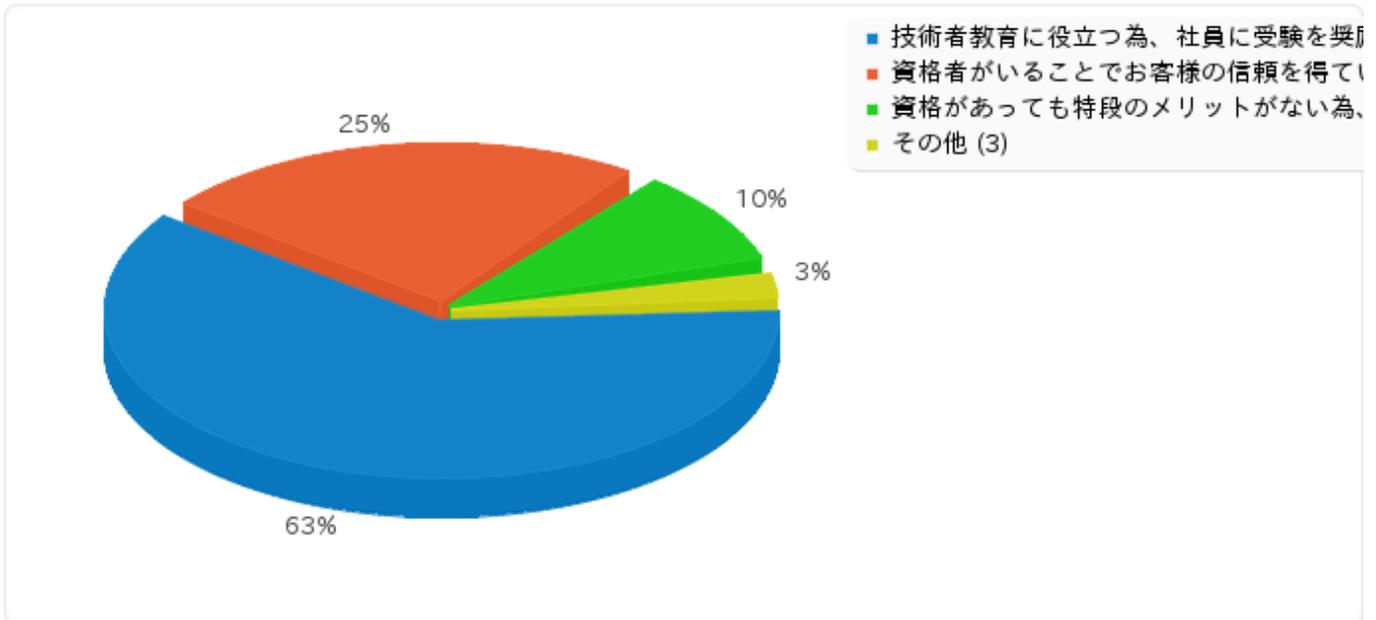
回答	カウント	百分率
技術者教育に役立つ為、社員に受験を奨励している (1)	72	63.16%
資格者がいることでお客様の信頼を得ているので、受験を奨励している (2)	28	24.56%
資格があっても特段のメリットがない為、受験を奨励していない (3)	11	9.65%
その他	3	2.63%
回答なし	0	0.00%

ID	回答
49	資格があっても特段のメリットがないけど、受験を奨励している



c009 フィールドの概要

Q3-4.住宅地盤技術者認定資格試験（主任技士・技士）についての貴社のお考えを教えてください。（必須、択一式）





c010 フィールドの概要

Q3-5.住宅地盤技術者認定資格試験についてご意見や要望があればお聞かせください。

回答	カウント	百分率
回答	24	21.05%
回答なし	90	78.95%

ID	回答
27	Q3-4の回答につきる。資格があっても特段のメリットはなく、地盤保証会社が認定している資格や地盤工学会の地盤判定士・地質調査協会の地質調査技師と、同じような資格がありすぎる。地盤判定士の有資格者も全国で900名ほどになっており、地盤判定士を主体に考えている。
37	住宅地盤技術者認定資格試験（主任技士・技士）について、 建設工事全般の経験・知識が求められるこの時代に、住宅地盤のみになっているように思えて視野が狭いような気がする。
40	国家資格に昇格出来るようなスキルの高さを引き出せる資格試験になって欲しい。 建築士や一部施主にとって、資格が軽んじられている。 資格者をもっと現地の状況や土（泥水）をみるべき。試験や資格としては難しいと思うが、実務として行っていたほうが、実際の判断や事故防止につながるのでは。 住宅地盤技術者認定資格試験（主任技士・技士）を持っていないが持っている者も依頼者（ビルダー・設計事務所・保証会社）が無知ならば 意味が無いように思える結果、調査の単価の叩き合いが優先し、資格は後回し。 もっと 住宅地盤技術者認定資格試験（主任技士・技士）を保証会社等にも広めてほしい 資格も持たず即席の調査屋と一緒にされてほしくない
49	失礼だが、ひっかけ問題でふるいにかけている気がしてしまう
56	特になし
60	認定資格試験に頼りすぎてもよくないです
73	土質・工法・地質・などなど基本の教育を受けたもの（せめて高校の土木科）の知識が必要かと思えます
82	液化判定について方向性を取りまとめてほしい
88	地質調査技士資格試験と同様に、今年はどのような項目が出るのかのサービス要素は要らないと考えます。（資格レベルの低下が懸念されます） また、試験問題が30問というのは少ないと思います。
94	特にありません
95	試験内容が難解。
96	新潟でも受験できるようにしてほしい。
108	特になし
113	問題が、ひっかけ問題が多いと思います。もっと純粋な問題傾向にしていきたい。
116	社員全員の回答は難しいですが、所属営業所では特にありません。
119	
	この資格を取る事によって、お客さんからの信頼が受けます。勉強することによって取得し本人のモチベーションも上がります。 資格制度を継続して頂き、業界全体を盛り上げてください。
123	特にありません。
127	特になし
131	資格を他社差別化に役立てたい。 例えば、瑕疵担保保険の添付報告書への主任技士の記名の必須化や、主任技術者となる資格となる・・・等 地盤品質判定士との業務範囲の違いが今一つわかりづらい
135	試験会場を増やしてほしい
183	特になし
185	特にありません
190	資格の有効範囲が限定的で有資格者の社会的地位や資格の有効性を強く感じることはない



。資格試験で問われていることは、地盤分野の技術者として知っておくべき基本事項が網羅されており、自社の技術者育成の過程において技量判断として役に立っている。試験問題には時々知識ではなく国語力を問うような意地の悪く感じられる問題があるように思われ、もっと素直な設問で良いように感じることもある。

地盤技術者は言葉を使って正確に、かつ、客観的に伝えることが仕事である観点からは、特に主任技術者の試験では、もっと書かせた方が良いように思っています。

195

実際 住宅地盤技術者認定資格を取得していても

資格持ってなくても

地盤保証会社やビルダーには関係なくただ調査代の価格勝負だったり

調査に早く行ける業者を手配するのが重要視されている

全く資格が意味していない

住宅地盤技術者認定資格試験は調査員のやる気やスキルアップのみの為で

調査の受注にはつながっていない

もっと ビルダー(中規模小規模)、特に地盤補償会社にも住宅地盤技術者認定資格試験の重要さを呼びかけ、理解してほしい



d001 フィールドの概要

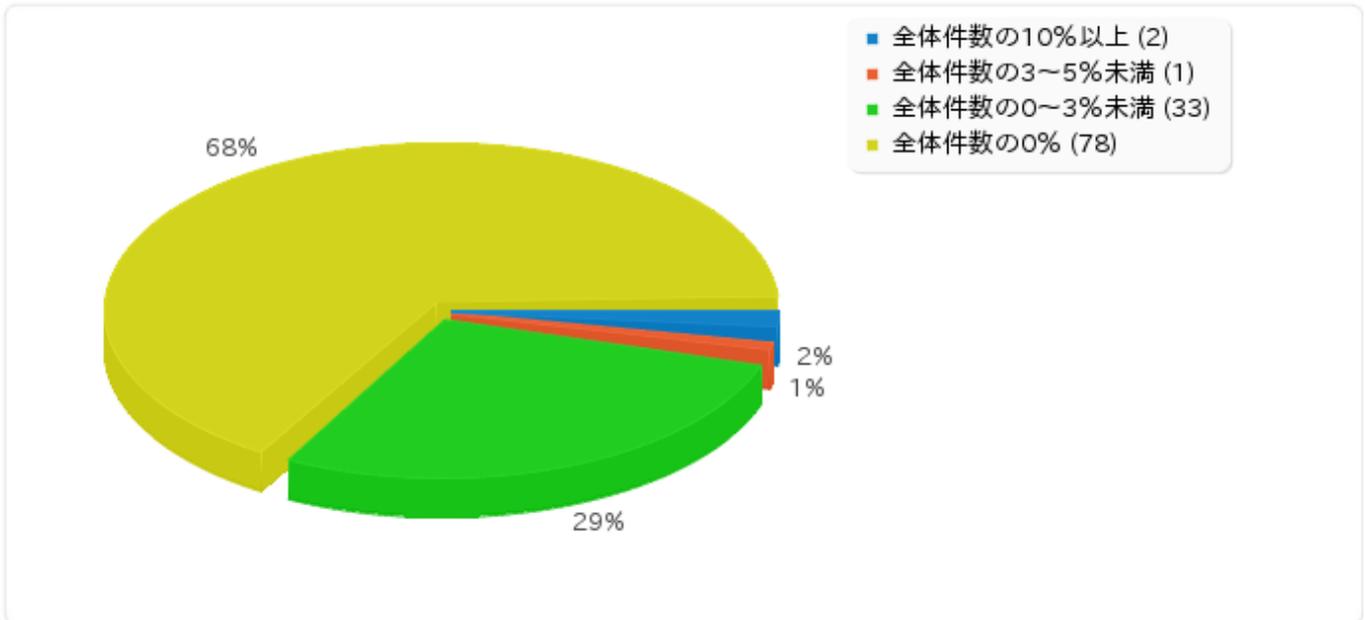
Q4-1.貴社で調査・判定または施工した案件で不同沈下が生じる件数は年間にどの程度ありますか？（
必須、択一式）

回答	カウント	百分率
全体件数の10%以上 (1)	2	1.75%
全体件数の5～10%未満 (2)	0	0.00%
全体件数の3～5%未満 (3)	1	0.88%
全体件数の0～3%未満 (4)	33	28.95%
全体件数の0% (5)	78	68.42%
回答なし	0	0.00%



d001 フィールドの概要

Q4-1.貴社で調査・判定または施工した案件で不同沈下が生じる件数は年間にどの程度ありますか？（必須、択一式）





d002 フィールドの概要

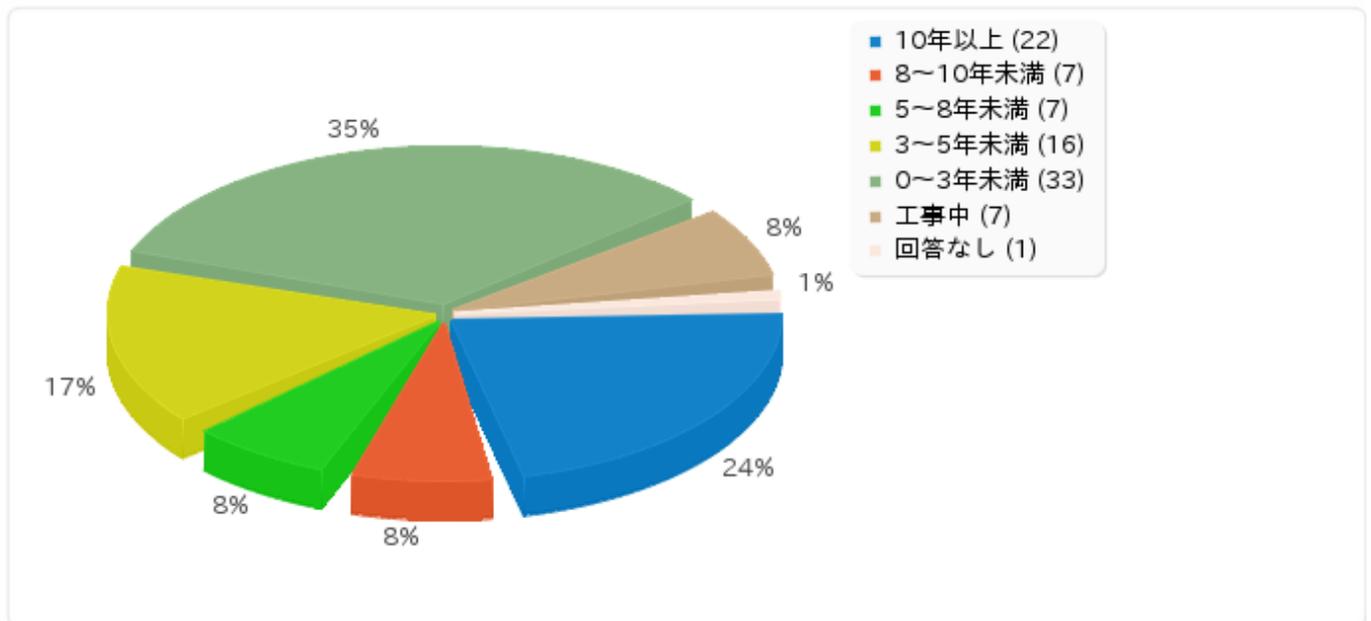
Q4-2.不同沈下が生じる場合は何年程度で発覚していますか？（必須、択一式）

回答	カウント	百分率
10年以上 (1)	22	23.66%
8～10年未満 (2)	7	7.53%
5～8年未満 (3)	7	7.53%
3～5年未満 (4)	16	17.20%
0～3年未満 (5)	33	35.48%
工事中 (6)	7	7.53%
回答なし	1	1.08%



d002 フィールドの概要

Q4-2. 不同沈下が生じる場合は何年程度で発覚していますか？（必須、択一式）





d003 フィールドの概要

Q4-3.不同沈下要因として最も多いと思われる項目はどれですか？（必須、択一式）

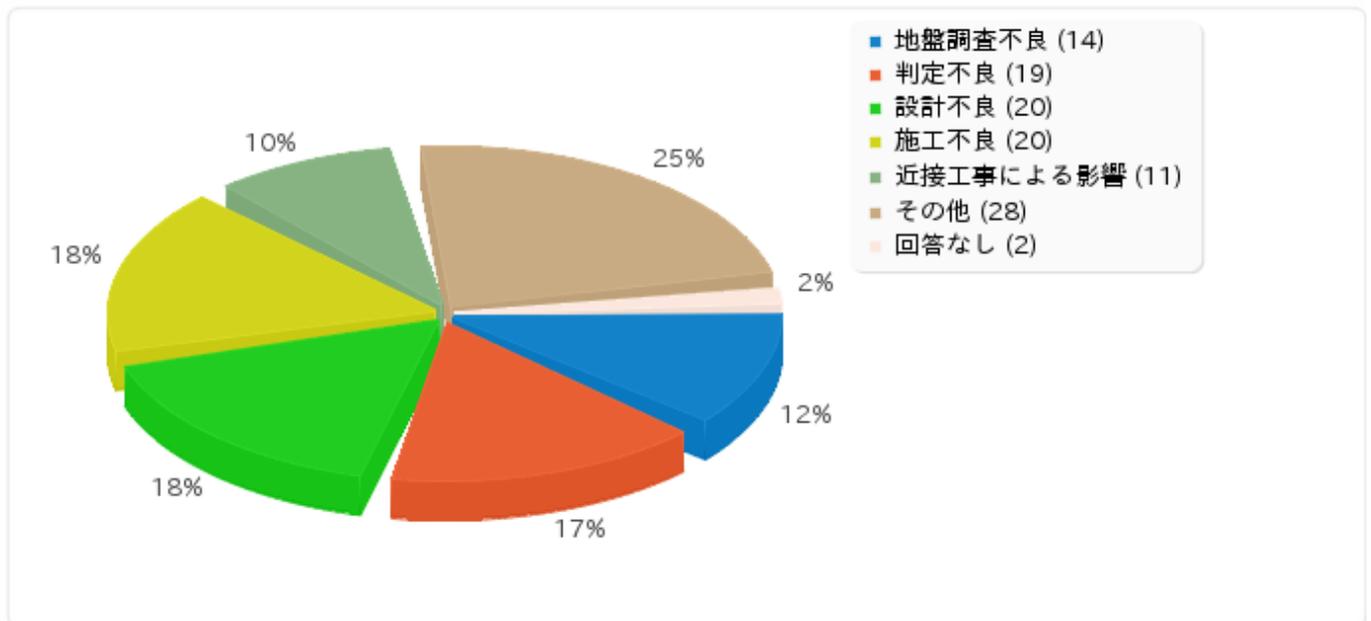
回答	カウント	百分率
地盤調査不良 (1)	14	12.28%
判定不良 (2)	19	16.67%
設計不良 (3)	20	17.54%
施工不良 (4)	20	17.54%
近接工事による影響 (5)	11	9.65%
その他	28	24.56%
回答なし	2	1.75%

ID	回答
17	自社施工による沈下事故なし
33	擁壁
70	発生していない
72	地盤調査判定と異なる工法にて工務店が施工
87	擁壁などの構造物の影響
101	地中障害物
123	沈下物件がまだありません
131	擁壁の影響の軽視
163	想定外の事項。
172	地盤の沈下
190	固まり難い土質



d003 フィールドの概要

Q4-3.不同沈下要因として最も多いと思われる項目はどれですか？（必須、択一式）





d0031 フィールドの概要

Q4-3-1.不同沈下要因として最も多いものが「地盤調査不良」とお答えになった方にお伺いします。
最も多いと思われる原因はどれですか？（必須、択一式）

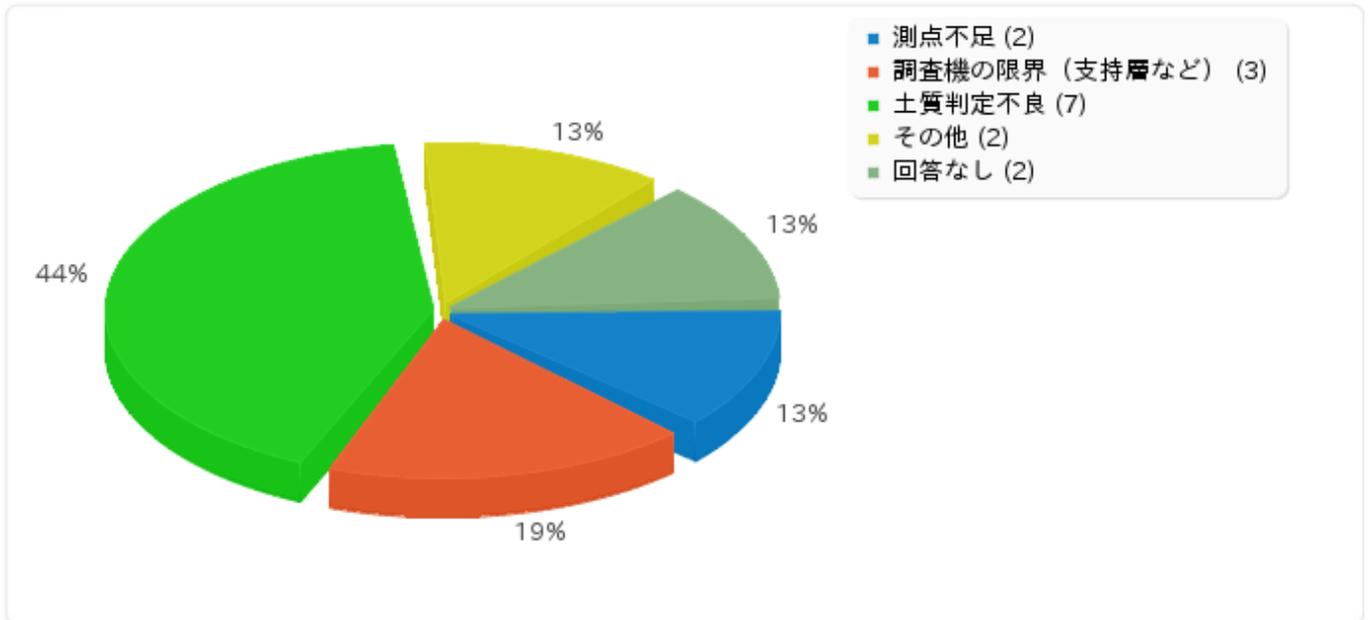
回答	カウント	百分率
測点不足 (1)	2	12.50%
調査機の限界（支持層など） (2)	3	18.75%
土質判定不良 (3)	7	43.75%
その他	2	12.50%
回答なし	2	12.50%

ID	回答
14	改良ミス(柱状など)
128	機械の性能の違いによって



d0031 フィールドの概要

Q4-3-1.不同沈下要因として最も多いものが「地盤調査不良」とお答えになった方にお伺いします。
最も多いと思われる原因はどれですか？（必須、択一式）





d004 フィールドの概要

Q4-3-2. 不同沈下要因として最も多いものが「判定不良」とお答えになった方にお伺いします。
最も多いと思われる原因はどれですか？（必須、択一式）

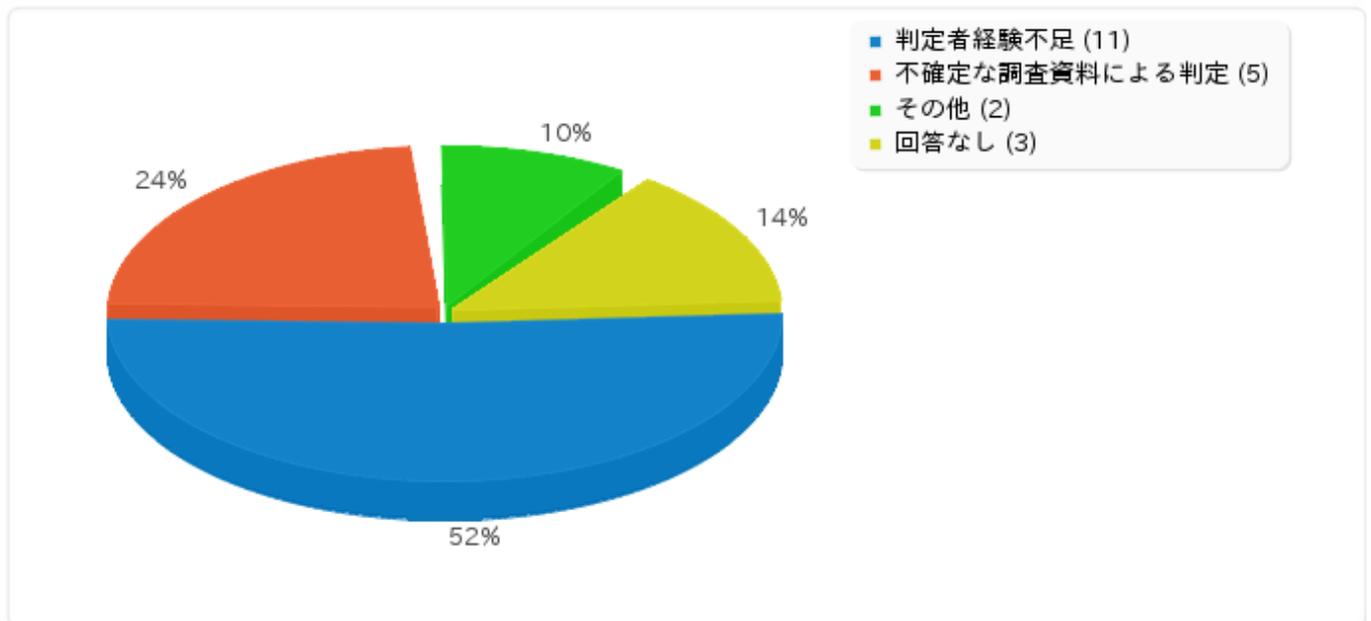
回答	カウント	百分率
判定者経験不足 (1)	11	52.38%
不確定な調査資料による判定 (2)	5	23.81%
その他	2	9.52%
回答なし	3	14.29%

ID	回答
9	高盛土や擁壁自体若しくは埋戻しに係る部分
54	一言では言えない



d004 フィールドの概要

Q4-3-2. 不同沈下要因として最も多いものが「判定不良」とお答えになった方にお伺いします。
最も多いと思われる原因はどれですか？（必須、択一式）





d005 フィールドの概要

Q4-3-3. 不同沈下要因として最も多いものが「設計不良」とお答えになった方にお伺いします。
最も多いと思われる原因はどれですか？（必須、択一式）

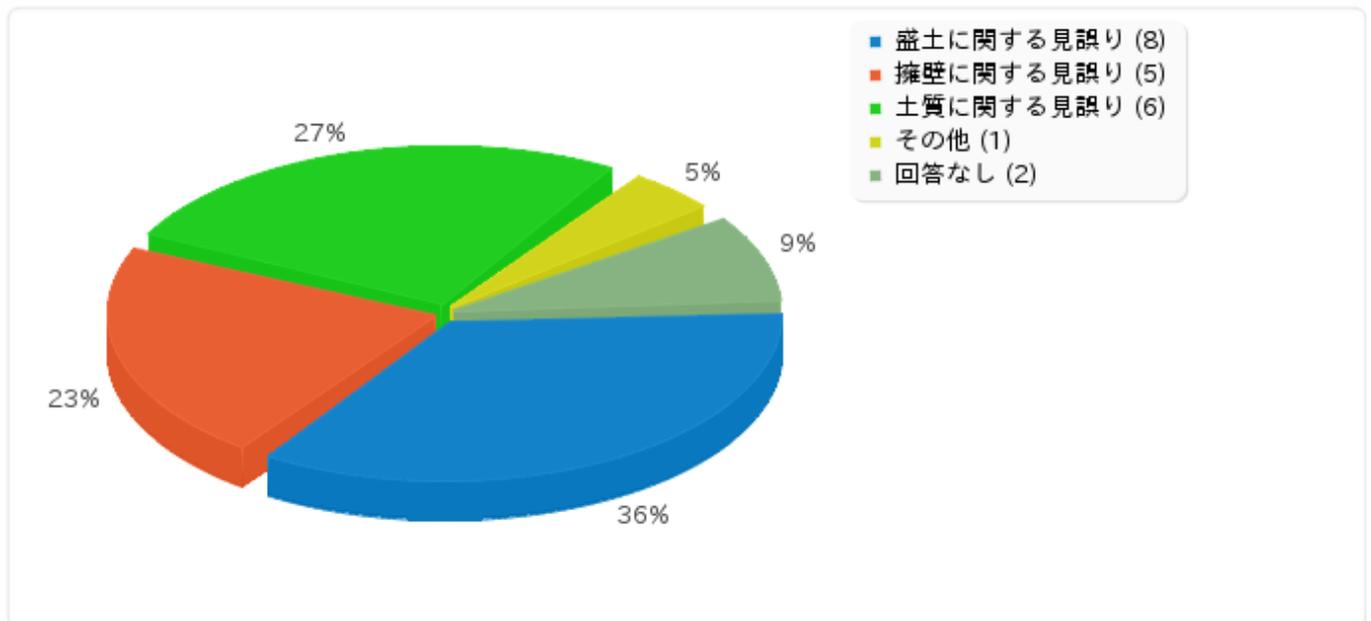
回答	カウント	百分率
盛土に関する見誤り (1)	8	36.36%
擁壁に関する見誤り (2)	5	22.73%
土質に関する見誤り (3)	6	27.27%
その他	1	4.55%
回答なし	2	9.09%

ID	回答
191	当方の指摘を無視



d005 フィールドの概要

Q4-3-3. 不同沈下要因として最も多いものが「設計不良」とお答えになった方にお伺いします。
最も多いと思われる原因はどれですか？（必須、択一式）





d006 フィールドの概要

Q4-3-4.不同沈下要因として最も多いものが「施工不良」とお答えになった方にお伺いします。
最も多いと思われる原因はどれですか？

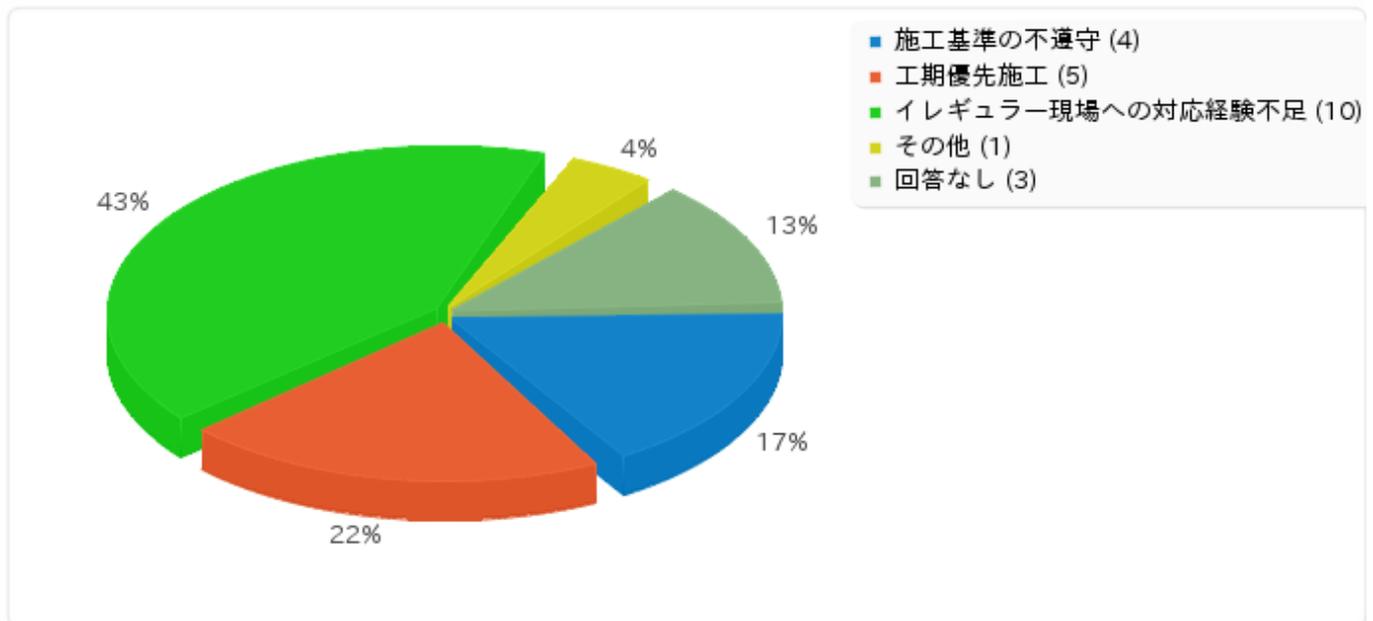
回答	カウント	百分率
施工基準の不遵守 (1)	4	17.39%
工期優先施工 (2)	5	21.74%
イレギュラー現場への対応経験不足 (3)	10	43.48%
その他	1	4.35%
回答なし	3	13.04%

ID	回答
96	固化不良



d006 フィールドの概要

Q4-3-4.不同沈下要因として最も多いものが「施工不良」とお答えになった方にお伺いします。
最も多いと思われる原因はどれですか？





d007 フィールドの概要

不同沈下要因として最も多いものが「近隣工事による影響」とお答えになった方にお伺いします。
最も多いと思われる原因はどれですか？（必須、択一式）

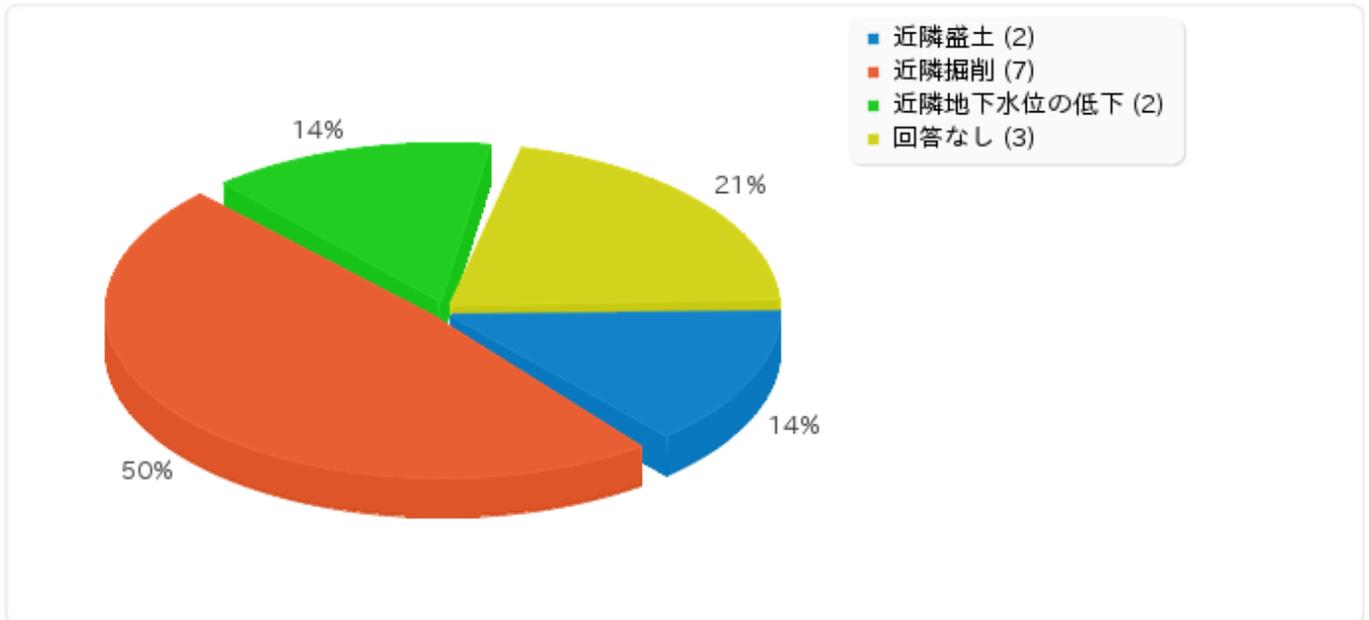
回答	カウント	百分率
近隣盛土 (1)	2	14.29%
近隣掘削 (2)	7	50.00%
近隣地下水位の低下 (3)	2	14.29%
その他	0	0.00%
回答なし	3	21.43%

ID	回答
----	----



d007 フィールドの概要

不同沈下要因として最も多いものが「近隣工事による影響」とお答えになった方にお伺いします。
最も多いと思われる原因はどれですか？（必須、択一式）





e001 フィールドの概要

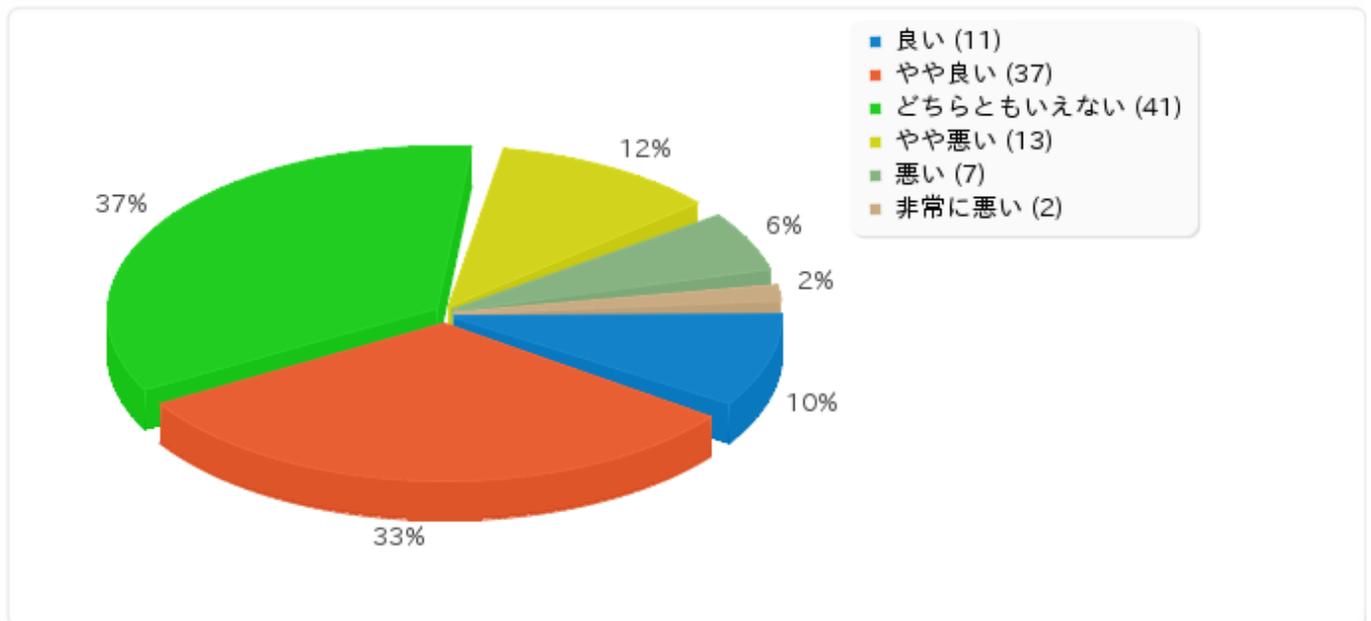
Q5-1.貴社の属する地域において現在の景気はどう感じますか？（必須、択一式）

回答	カウント	百分率
非常に良い(1)	0	0.00%
良い(2)	11	9.91%
やや良い(3)	37	33.33%
どちらともいえない(4)	41	36.94%
やや悪い(5)	13	11.71%
悪い(6)	7	6.31%
非常に悪い(7)	2	1.80%
回答なし	0	0.00%



e001 フィールドの概要

Q5-1.貴社の属する地域において現在の景気はどう感じますか？（必須、択一式）





e002 フィールドの概要

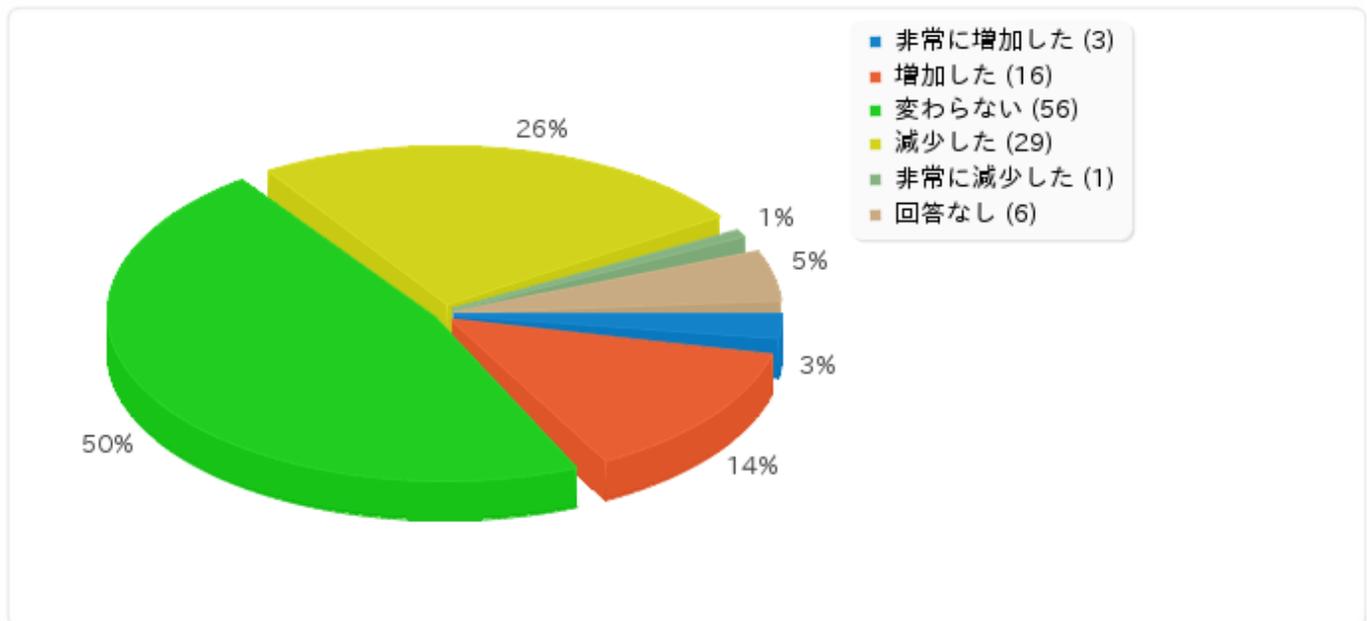
Q5-2.貴社の時間外労働時間は前年と比べどうなりましたか？（対前年比）

回答	カウント	百分率
非常に増加した (1)	3	2.70%
増加した (2)	16	14.41%
変わらない (3)	56	50.45%
減少した (4)	29	26.13%
非常に減少した (5)	1	0.90%
回答なし	6	5.41%



e002 フィールドの概要

Q5-2.貴社の時間外労働時間は前年と比べどうなりましたか？（対前年比）





e003 フィールドの概要

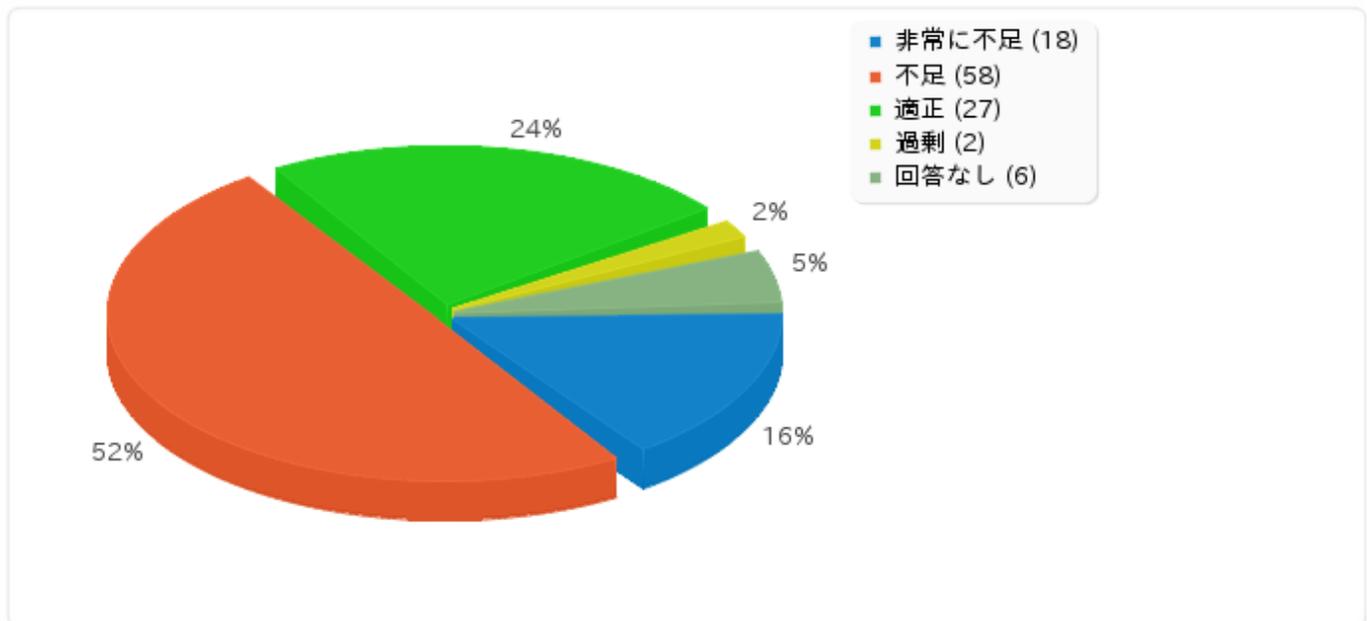
Q5-3.貴社の現在の従業員の過不足感について前年と比べどう感じますか？（対前年比）

回答	カウント	百分率
非常に不足 (1)	18	16.22%
不足 (2)	58	52.25%
適正 (3)	27	24.32%
過剰 (4)	2	1.80%
非常に過剰 (5)	0	0.00%
回答なし	6	5.41%



e003 フィールドの概要

Q5-3.貴社の現在の従業員の過不足感について前年と比べどう感じますか？（対前年比）





f001 フィールドの概要

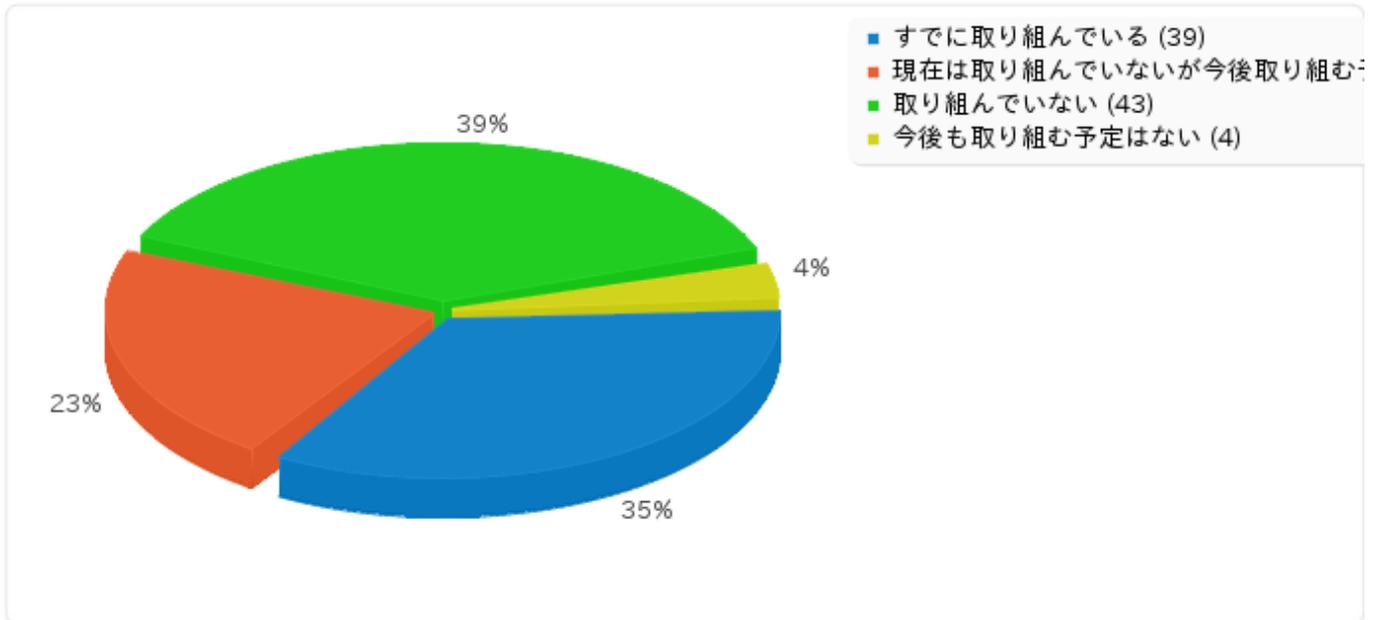
Q6-1.貴社は2018年6月に成立した働き方改革関連法の働き方改革に深く関わる生産性の向上へ向け取り組みんでいますか？（必須、択一式）

回答	カウント	百分率
すでに取り組んでいる (1)	39	35.14%
現在は取り組んでいないが今後取り組む予定 (2)	25	22.52%
取り組んでいない (3)	43	38.74%
今後も取り組む予定はない (4)	4	3.60%
回答なし	0	0.00%



f001 フィールドの概要

Q6-1.貴社は2018年6月に成立した働き方改革関連法の働き方改革に深く関わる生産性の向上へ向け取り組みをしていますか？（必須、択一式）





f002 フィールドの概要

Q6-1-1.生産性の向上へ向け取り組んでいるとお答えになった方にお伺いします。実施または検討している項目をお答えください。(複数回答式)

回答	カウント	百分率
新商品開発など新たな工法の創出 (1)	16	24.62%
業務効率化の為にIT・機械・システムの導入 (2)	28	43.08%
コストダウン (3)	11	16.92%
長時間の労働の是正 (4)	42	64.62%
従業員のモチベーション向上 (5)	33	50.77%
賃金制度の変更改善 (6)	20	30.77%
コミュニケーションの活性化 (7)	21	32.31%
人材教育の実施 (8)	26	40.00%
その他	0	0.00%

ID	回答
----	----



f002 フィールドの概要

Q6-1-1.生産性の向上へ向け取り組んでいるとお答えになった方にお伺いします。実施または検討している項目をお答えください。（複数回答式）

